

## ■地域文化研究専攻教員の活動（2019年1月～12月）

- \*所属教員名の五十音順に、各人の研究活動を下記の項目にしたがって記載した。
- \*該当業績のない項目は省略している。
- \*前年記載漏れの業績なども含む。

A. 著書, B. 分担執筆, C. レフェリー付き学術論文, D. 一般学術論文, E. 翻訳, F. その他の業績,  
G. 国際学会での活動, H. 国内学会での活動, I. その他の研究活動, J. 受賞

### 秋葉 淳 (AKIBA Jun)

C. レフェリー付き学術論文

- Akiba, J. “Girls Are Also People of the Holy Qur’an”: Girls’ Schools and Female Teachers in Pre-Tanzimat Istanbul. *Hawwa: Journal of Women of the Middle East and the Islamic World*. **17.1**. pp. 21–54. 2019.

G. 国際学会

- Lecture at Department of History, Bilkent University. Department of History, Bilkent University. Bilkent University, Ankara. 2019.10.31. 招待講演. The Governor’s Divan and the Sharia Court: Administration of Justice in the Ottoman Provinces during the Eighteenth Century. 英語.

H. 国内学会

- 第13回近代中央ユーラシア比較法制度史研究会. 科研費(基盤研究(B))「近代中央アジアのムスリム家族とイスラーム法の社会史的研究」(研究代表者: 磯貝健一). 京都大学羽田記念館. 2019.11.16. 招待講演. Missing Husbands, Abandoned Wives: Judicial Practices in Eighteenth-Century Ottoman Anatolia. 英語.
- 第35回日本中東学会年次大会. 日本中東学会. 秋田大学. 2019.5.12. 一般発表. オスマン帝国史における捕虜と虜囚記(16–18世紀).

I. その他の研究活動

- 第19回東京大学東洋文化研究所公開講座「アジアの働」. 東京大学東洋文化研究所, 東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター共催. 東京大学東洋文化研究所. 2019.10.19. オスマン帝国の働く女性たち.

### 足立信彦 (ADACHI Nobuhiko)

D. 一般学術論文

- 足立信彦. 天は男・地は女——性・所有・共同体VI——. 『Odysseus』. **23**. pp. 17–44. 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻. 2019.

### 網野徹哉 (AMINO Tetsuya)

## 有田 伸 (ARITA Shin)

### B. 分担執筆

- 有田伸. 考えたくない事態にどう対応するか? — 災害への備えとネガティブ・ケイバビリティ. 東大社研. 玄田有史, 飯田高(編). 『危機対応の社会科学 下 未来への手応え』, p. 408, pp. 349–369. 東京大学出版会, 2019.

### C. レフリー付き学術論文

- Lim, E, Arita, S, Joung, S. Advancing Sustainable Consumption in Korea and Japan: From Re-Orientation of Consumer Behavior to Civic Actions. *Sustainability*. **11**. 6683. MDPI 2019.
- Ishida, K, Arita, S, Genji, K, Kagawa, M. Structural and Institutional Aspects Surrounding Japanese Self-Initiated Expatriates' Career Opportunities in East and Southeast Asian Societies. *Economic and Social Changes: Facts, Trends, Forecast*. **12.5**. pp. 175–191. VoIRC RAS 2019.

### D. 一般学術論文

- Arita, S, Nagayoshi, K, Taki, H, Kanbayashi, H, Takenoshita, H, Yoshida, T. Legitimation of Income Inequality in Japan: A Comparison with South Korea and the United States. *FFJ Discussion Paper*, #19-02. 2019.

### F. その他業績

- 有田伸. 巻頭言: 「データ革命」で変わる途上国・新興国研究. 『IDE ニュース』, **3**. pp. 1–2, 2019.

### G. 国際学会

- 2019 ISARC28 Spring Meeting. International Sociological Association, Research Committee 28. Goethe University of Frankfurt. 2019.3.21–23. 一般発表. Is earnings inequality legitimized in Japan? A comparative study of just income using vignette survey data (with Kikuko Nagayoshi, Hirofumi Taki, Hiroshi Kanbayashi, Hirohisa Takenoshita, Takashi Yoshida). 英語.
- Joint German-Japan Workshop “Comparative Life Course Research”. German Institute for Economic Research. German Institute for Economic Research. 2019.5.21–22. 招待発表. Legitimation of Earnings Inequality in Japan: A Comparative Study of Just Income Using Vignette Survey Data (with Kikuko Nagayoshi, Hirofumi Taki, Hiroshi Kanbayashi, Hirohisa Takenoshita, Takashi Yoshida). 英語.
- 2019 Conference in Seoul “Diverse Stories of Coming of Age among East Asians and Asian Americans”. Korean Millennials Project. Fraser Place Namdaemun Seoul. 2019.6.8–9. Labor Market Session. 英語. 司会.
- 2019 SASE New York Conference. Society for the Advancement of Socio-Economics. The New School. 2019.6.27–29. 一般発表. Legitimation of Income Inequality in Japan: A Comparative Analysis Using Vignette Survey Data (with Kikuko Nagayoshi, Hirofumi Taki, Hiroshi Kanbayashi, Hirohisa Takenoshita, Takashi Yoshida). 英語.
- 日韓共同セミナー 『日韓における非正規問題——解明を超え解決に向けて』. 埼玉大学. 埼玉大

学, 2019.12.12. 招待発表, 日本の非正規雇用とは何か——社会学からの接近, 日本語.

#### H. 国内学会

- 第 67 回数理社会学会大会, 数理社会学会, 立命館大学, 2019.3.7-8. 一般発表, A Comparative Study of Just Income Using Vignette Survey Data: Is Earnings Inequality Legitimized in Japan? (永吉希久子・多喜弘文・神林博史・竹ノ下弘久・吉田崇との共同報告), 英語.
- 第 92 回日本社会学会大会, 日本社会学会, 東京女子大学, 2019.10.5-6. 一般発表, 所得格差の受容と正当化に関する日米韓比較研究 (3)——不利な立場にある人々による格差の過剰受容.
- 社会にインパクトある研究ワークショップ, 東北大学, 東北大学, 2019.11.26. 招待発表, 報酬格差の社会的説明の試み——就業者の「カテゴリー」に着目して.

#### J. 受賞

- 2019 FFJ/SASE Award for the Best Paper on Asia (Fondation France-Japon, EHESS). Legitimation of Income Inequality in Japan: A Comparison with South Korea and the United States. A paper submitted to 2019 SASE New York Conference. 2019.

### アルヴィ宮本なほ子 (ALVEY MIYAMOTO Nahoko)

#### B. 分担執筆

- アルヴィ宮本なほ子, 7つ目のC——「モダン・プロメテウス」への批判的応答, 日本シェリー研究センター, 『フランケンシュタインの世紀』, p. 180, pp. 111-29, 大阪教育図書, 2019.
- Alvey Miyamoto, N. With Sidewise Crab-Walk Western Writing: Tradition and Modernity in Shimazaki Tōson and Natsume Sōseki. Laurence Williams, Alex Watson. *British Romanticism in Asia: The Reception, Translation, and Transformation of Romantic Literature in India and East Asia*. p. 414, pp. 249-71. London: Palgrave, 2019.

#### D. 一般学術論文

- アルヴィ宮本なほ子, When a new planet swims into my ken——イギリス・ロマン派の詩を読む場所と時間, 『ODYSSEUS』, 23, pp. 45-63, 東京大学総合文化研究科地域文化研究専攻, 2019.

#### E. その他の業績

- アルヴィ宮本なほ子, アンケート東大教師が新入生にすすめる本, 『UP』, No. 558, pp. 3-4, 2019.

#### G. 国際学会

- UTokyo-NTU Joint Conference at UTokyo 2019. (Section: “Emerging Medical Narratives”) University of Tokyo, National Taiwan University. University of Tokyo, Komaba Campus. 2019.12.10. 一般発表, *Frankenstein and Narrative Humility*. 英語.

#### H. 国内学会

- 第 45 回イギリス・ロマン派学会全国大会, イギリス・ロマン派学会, 大妻女子大学,

2019.10.20. 一般発表. 21世紀の「現代のプロメテウス」: ウォルトン, クローン, 感覚教育.

I. その他の研究活動

- 「イギリス文学概論」講演. 明治学院大学文学部英文科 (横浜キャンパス). 2019.6.4. 詩を聞く・読む・見る——William Blake の *Songs of Innocence and of Experience*.
- 「科学文化概論」講演. 東京理科大学大学院理学研究科科学教育専攻. 2019.6.10. 科学と文学の交差する場所——『フランケンシュタイン あるいは現代のプロメテウス』から学ぶこと

池上俊一 (IKEGAMI Shunichi)

A. 著書

- 池上俊一. 『情熱でたどるスペイン史』. p. 246. 岩波書店. 2019.

D. 一般学術論文

- 池上俊一. 国王ジャンニーノ——ヨーロッパ後期中世の偽王伝説. 『慶應義塾大学言語文化研究所紀要』. 50. pp. 223–241. 慶應義塾大学言語文化研究所. 2019.

F. その他の業績

- 池上俊一. インタビュー. ワールドワイド・オブ・タカラヅカ 宙組全国ツアー公演 『追憶のバルセロナ』～芸術・食・祭り……“情熱”で説き起こすスペイン～. 『歌劇』. 9月号. pp. 126–129. 宝塚クリエイティブアーツ. 2019.

G. 国際学会

- The 10th Japanese-Korean Symposium on Medieval History of Europe: Medieval Communication: Some Aspects. 第10回日韓西洋中世史研究集会準備会. 早稲田大学 (東京). 2019.8.22–8.23. 英語. 司会

池亀 彩 (IKEGAME Aya)

井坂理穂 (ISAKA Riho)

B. 分担執筆

- 井坂理穂. 編集および分担執筆. 井坂理穂・山根聡編. 『食から描くインド 近現代の社会変容とアイデンティティ』. p. 391. 春風社. 2019.
- 井坂理穂. 植民地インドの社会と文化. 長崎暢子編. 『世界歴史大系 南アジア史4 近代・現代』. p. 468. pp. 74–100. 山川出版社. 2019.
- 井坂理穂. インドにおける国家建設と「インド料理」. 西澤治彦編. 『「国民料理」の形成』. p. 292. pp. 63–86. ドメス出版. 2019.

G. 国際学会

- Entangled Comparisons, Grounding Research on Asia: Expanding Research Methodologies. ZiF. Universität Bielefeld. 2019.9.5. 一般発表. “Gandhi” in prewar, wartime, and postwar Japan. 英語.

- AAS-in-Asia 2019. AAS. Royal Orchid Sheraton Hotel & Towers (Bangkok). 2019.7.2. 一般発表. The Bene Israel elite in colonial India and their ideas of belonging: Empire, nationalism, and Zionism, 1910s–1930s. 英語.
- Lecture series in Sociology and Anthropology. Department of Sociology and Anthropology. Ateneo de Manila University. 2019.3.11. 招待講演. What to eat and how to cook: Debates on food in colonial and postcolonial India. 英語.

#### H. 国内学会

- 日本南アジア学会第32回全国大会. 日本南アジア学会. 慶應義塾大学日吉キャンパス. 2019.10.5. 一般発表. Body, religion, and laws in modern India: Debates on *santhara / sallekhana*. 英語.
- 第27回公開シンポジウム 〈身体〉からみる地域——医療・衛生・宗教実践——. 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻. 東京大学駒場キャンパス. 2019.6.29. 一般発表. 近現代インドにおける身体・宗教・法—断食死をめぐる論争.
- TINDAS International Workshop: Religion, Nation, and State in Modern India. 東京大学南アジア研究センター. 東京大学駒場キャンパス. 2019.3.27. 企画運営, ディスカッション.

### 石井 剛 (ISHII Tsuyoshi)

#### B. 分担執筆

- 石井剛. 『国故』月刊——夭折的「古学復興」. 王德威・宋明煒編. 五四 @100: 文化, 思想, 歴史. p. 335. pp. 73–76. 新北: 聯經出版事業股份有限公司. 2019.
- 石井剛. ユニークな教育内容3 TLP グローバルリーダーを目指す学生のための言語教育. 東京大学教養学部編. 東京大学駒場スタイル. p. 211. pp. 36–37. 東京大学出版会. 2019.
- 石井剛. 書く・隠れる. 中島隆博・石井剛共編著. ことばを紡ぐための哲学. p. 215. pp. 188–206. 白水社. 2019.

#### C. レフェリー付き学術論文

- 石井剛. 反思日本現代“中国認識”与歴史的“内在理解”. 『開放時代』. **283**. pp. 138–149. 2019.
- 石井剛. “随順”的主体実践: 『大乘起信論』与章太炎的“齐物哲学”. 『漢語仏学評論』. **6**. pp. 49–64. 2018.

#### F. その他業績

- 京都フォーラム「世界哲学を構想する」会. 京都フォーラム. リーガロイヤルホテル(大阪). 2019.7.13–14. 発題者.

#### G. 国際学会

- Beijing Forum 2019. 北京大学. 2019.11.2. 招待講演. 従東亜築起新的人文研究教育: 東亜藝文書院の願景. 中国語.
- 「世界歴史与世界哲学: 比較哲学的時代与方向」学術研討会. 武漢大学. 2019.5.18. 招待講演.

従“臨界状況”の体認出発の希望：雅斯貝爾斯の世界史観と日本 20 世紀的思想経験。中国語。

- May Fourth @100: China and the World: an international symposium to celebrate and reflect upon the monumental legacy of China's May Fourth movement. Harvard University (Cambridge). 2019.4.11. 招待講演。What did they protest against?—On the possibility of reinterpreting “li 禮” in the May Fourth discourse. 英語。
- 北京大学-東京大学東亜研究聯合項目啓動学術会議兼青年学者工作坊。北京大学。2019.3.22. 招待講演。“華語語系哲学” 以及其通向“世界哲学” 的可能性難議。中国語。
- 2019 ‘Winter’ Institute in Australian National University “History, Culture and Contested Memories: Global and Local Perspectives”. Australian National University (Canberra). 2019.1.8. 招待講演。Critiquing Historiography: On the Im/possibility of “Immanent Understanding” of History. 英語。

#### H. 国内学会

- ワークショップ「20 年後の『アジア人文学』」。京都大学人社未来形発信ユニット。京都大学。2019.9.30. 招待講演。「新しい人」のための古い智慧：中国の現在と東アジア藝文書院の願い。
- 2019 年度シンポジウム「世界哲学としての中国哲学」。中国社会文化学会。東京大学。2018.7.7. 招待講演。世界文献学から見た清代哲学の「言語論的展開」。

### 石田勇治 (ISHIDA Yuji)

#### F. その他の業績

- 石田勇治。書評。大木毅『独ソ戦 絶滅戦争の惨禍』（岩波新書）。朝日新聞。2019.10.19.
- 石田勇治。書評。ハイディ・ベネケンシュタイン『ネオナチの少女』（平野椰子訳、筑摩書房）。岐阜新聞（共同通信配信）。2019.4.28.
- 石田勇治。解説。劇団民藝公演。マーク・ヘイハースト「闇にさらわれて」鑑賞パンフレット。思想は自由だ。『民藝の仲間』。410。pp. 22-23。2019.
- 石田勇治。論説。緊急事態条項とは？ ナチスの手口に触れながら。『平和のために～学び・調べ・表現する～』。18。pp. 18-25。平和・国際教育研究会。2019.
- 石田勇治。論説。シュタインマイヤー独大統領の演説と想起の文化。『学鏡』。丸善出版。116-4。pp. 30-33。2019.
- 石田勇治。雑誌記事（インタビュー）。特集 政治とのつながりを見つめ直す ヒトラー政権下のドイツで起きたこと——『ゲッベルスと私』から学ぶ政治への無関心の行方。REPORT 情報労連リポート。420。pp. 16-17。2019。1-2.
- 石田勇治。新聞記事（インタビュー）。ナチズム再来？ ドイツに警戒感 生存権や平等規定 ワイマール憲法 100 年。朝日新聞。2019.9.24.
- 石田勇治。新聞記事（インタビュー）。いのちに優劣、過ち繰り返さない 障害者を殺害 ナチ「T4 作戦」80 年。朝日新聞。2019.9.19.
- 石田勇治。新聞記事（インタビュー）。アウシュビッツ強制収容所 過去から学ぶ教育 守り続

けて、朝日中高生新聞、2019.6.9.

#### G. 国際会議

- 日独シンポジウム ベルリンの壁崩壊 30 年 変わりゆくドイツの現在、東京大学グローバル地域研究機構ドイツ・ヨーロッパ研究センター、東京大学駒場キャンパス学際交流ホール、2019.11.16. コーディネート、講演、冷戦時代のドイツ——4つの視点.

#### I. その他の研究活動

- 石田勇治、講演、未来をひらく教育のつどい 2019 埼玉集会秩父教育フォーラム、ナチスの手口と緊急事態条項——日本の平和憲法はどうなる？、地場産センター（秩父）、2019.10.27.
- 石田勇治、講演、自主グループ・読み解きレッスン、ナチスの「手口」と緊急事態条項、三鷹市生涯学習センター、2019.9.16.
- 石田勇治、講演、IWJ ファンドレイジングシンポジウム 2019、改憲か否か!? 20分でわかる緊急事態条項、ライブレストラン六本木パードランド、2019.6.30.
- 石田勇治、講演、憲法映画祭 2019、ナチスの「手口」と緊急事態条項、武蔵野公会堂ホール、2019.4.28.
- 石田勇治、講演、憲法を考える会、緊急事態条項の危険性、練馬区立区民・産業プラザ、2019.3.23.
- 石田勇治、講演、阿佐ヶ谷市民講座、ワイマール憲法下でなぜヒトラー独裁は成立したのか？、劇団展望（東京）、2019.3.21.
- 石田勇治、講演、婦人民主クラブ創立 73 年記念のつどい、ナチスの「手口」と緊急事態条項、全国教育文化会館（東京）、2019.3.16.
- 石田勇治、講演、NHK 文化センター京都教室、ヒトラーとナチ・ドイツ、2019.8.3.
- 石田勇治、講演、中日文化センター栄、ドイツ近現代史、2019.1.12, 2.2, 3.2, 4.6, 5.11, 6.1/, 7.6, 8.3, 9.7.
- 石田勇治、講演、朝日カルチャーセンター新宿、ワイマール憲法とナチズム、2019.8.6, 8.27, 9.17.
- 石田勇治、講演、朝日カルチャーセンター新宿、ヒトラーと戦後ドイツ、2019.4.22.
- 石田勇治、講演、朝日カルチャーセンター新宿、ヒトラーと現代ドイツ、2019.3.18.
- 石田勇治、講演、早稲田大学エクステンション中野、ナチズムと現代ドイツ、2019.7.27/, 8.10, 8.24.
- 石田勇治、講演、早稲田大学エクステンション中野、ナチズムの歴史、2019.1.12, 2.2, 3.2.
- 石田勇治、出演、日韓問題解決の糸口 日本とドイツの戦後“謝罪”の違いとは、BS-TBS 報道 1930、2019.9.12.

#### 石橋 純 (ISHIBASHI Jun)

#### F. その他の業績

- 石橋純. 音楽評論. 「CD 評: Yoshiro 広石 Cool & Sensual Latin from Japan」. 『ラティーナ』 781 (2019年03月号) p. 57.
- 石橋純 (音楽評論ならびに写真撮影) 「ヴィンテージの声で語る極上のラテン・エンタテインメント」. 『ラティーナ』 783 (2019年05月号) pp. 50–51.

#### I. その他の研究活動

- 石橋純, 写真撮影, 関口義男 「岡庭矢宵の“LADIRINTO (ラディリント)”を巡る旅」 『ラティーナ』 782 (2019年4月号) pp. 78–79.
- 石橋純, 写真撮影, 佐藤由美 「YOSHIRO 広石」 『ラティーナ』 785 (2019年7月号) p. 67.
- (レクチャーコンサート企画・司会・通訳) 立教大学ラテンアメリカ研究所主催公開講演会 「メキシコ伝統音楽ソン・ハローチョの変容と現在」 (出演: ロスラギートス) 2019.7.6. 立教大学池袋キャンパス 5号館 5324 教室
- (コンサート企画) 「全学体験ゼミナール・ラテンアメリカ音楽演奏入門 成果発表コンサート」. 2019.8.3. 東京大学駒場キャンパス 18号館ホール. レクチャーコンサート企画・司会・通訳.
- 東京大学教養学部ラテンアメリカ研究コース主催, 国立民族学博物館共催 「世界に広がるメキシコ伝統音楽ソン・ハローチョ」 (ルベン・エルナンデス UCLA 教授ならびに楽団カンバラチェを米国から招いてのレクチャーコンサート). 2019.10.29. 東京大学駒場キャンパス 18号館ホール.

### 伊東直美 (ITO Naomi)

#### G. 国際学会での活動

- Konferenz der ostasiatischen Zentren für Deutschland- und Europastudien. DAAD 北京大学. 2019.10.12–13. 一般発表. Verlust der Staatsangehörigkeit in Deutschland während des Ersten Weltkrieges. ドイツ語.

### 井上博之 (INOUE Hiroyuki)

#### D. 一般学術論文

- Inoue, H. “A Southern California Beach That Never Was”: Adapting the Noir City in *Inherent Vice*. 『言語文化』. **36**. pp. 203–217. 明治学院大学言語文化研究所. 2019.

#### G. 国際学会

- National Taiwan University–University of Tokyo Joint Conference. 東京大学 (東京). 2019.12.10. 一般発表. How the West Treats Its Doctors: Practicing Medicine in the Cinematic Western. 英語.

#### H. 国内学会

- 日本アメリカ文学会東京支部例会現代散文分科会. 日本アメリカ文学会東京支部. 慶應義塾大学 (東京). 2019.11.16. 一般発表. レスリー・マーモン・シルコウ 『儀式』 における南西部と小

説の時空間。

I. その他の研究活動

- 和洋女子大学公開講座 2019. 和洋女子大学(千葉), 2019.5.18. 荒野のアメリカ——ウェスタンから考えるアメリカ合衆国の歴史と文化. 講師.

遠藤泰生 (ENDO Yasuo)

D. 一般学術論文

- 遠藤泰生. 海から見るアメリカ史の可能性と課題: 笠井俊和著『船乗りがつなぐ大西洋世界——英領植民地ボストンの船員と貿易の社会史』(晃洋書房, 2017年)を読む. 『アメリカ太平洋研究』, **19**, pp. 87-96. 東京大学アメリカ太平洋地域研究センター, 2019.

F. その他の業績

- 遠藤泰生. 学会報告要旨. 「反米」の腐蝕する時代——反米・嫌米・離米. 日本比較文学会東京支部 News Letter. **125**, p. 5, 2019.
- 遠藤泰生. プロジェクト報告. 科学研究費基盤研究(c) 19世紀半ばのアメリカ合衆国における太平洋像とそこに映し出された合衆国理解の研究. 『アメリカ太平洋研究』, **19**, p. 117-118. 東京大学アメリカ太平洋地域研究センター, 2019.

H. 国内学会

- 日本比較文学会東京支部例会. 日本比較文学会. 二松学舎大学九段校. 2019.5.18. 「反米」の腐蝕する時代——反米・嫌米・離米.

大塚 修 (OTSUKA Osamu)

B. 分担執筆

- 大塚修. セルジューク朝の覇権とイスラーム信仰圏の分岐. 千葉敏之. 『1187年 巨大信仰圏の出現(歴史の転換期4)』, p. 304. pp. 28-79. 山川出版社, 2019.

C. レフリー付き学術論文

- Otsuka, O. The Hazaraspid Dynasty's Legendary Kayanid Ancestry: the Flowering of Persian Literature under the Patronage of Local Rulers in the Late Il-khanid Period. *Journal of Persianate Studies*. **12.2**, pp. 181-205. The Association for the Study of Persianate Societies. 2019.

D. 一般学術論文

- 大塚修. 人類の起源を求めて——前近代ムスリム知識人による諸民族の系譜の創造. 『西洋史研究』, 新輯 **48**, pp. 166-183. 西洋史研究会, 2019.

F. その他の業績

- 大塚修. 書評. 宮紀子著『モンゴル時代の「知」の東西』, 『史林』, **102.4**, pp. 98-105. 史学研究会, 2019.

G. 国際学会

- International Workshop: The Fate of Rashid al-Din's Manuscripts. Tokyo University of Foreign Studies. Haneda Memorial Hall (Kyoto). 2019.10.26. 招待講演. The Transmission and Reception of the Jami' al-Tawarikh. 英語.
- The Book Launch of the Wiley Blackwell History of Islam. National Museum of Ethnology. National Museum of Ethnology (Osaka). 2019.4.26. 招待講演. Review on Part IV The Later Middle Period (ca. 1258–1453). 英語.

#### H. 国内学会

- 2019年度九州史学会大会. 九州史学会. 九州大学(福岡). 2019.12.15. 招待講演. ペルシア語文化圏における普遍史の変貌と簿記術.
- 日本オリエント学会第61回大会. 日本オリエント学会. 明治大学(東京). 2019.10.13. 一般発表. ティムール朝歴史編纂事業再考——ジャアファリーの歴史』を中心に——.

#### I. その他の研究活動

- 大塚修. ペルシア語の歴史書を紐解く. 朝日カルチャーセンター講座. 2019.5.28.

### 岡田泰平 (OKATA Taihei)

#### B. 分担執筆

- 岡田泰平. 性暴力と裁判——フィリピン戦が伝えるもの. 細谷広美, 佐藤義明. 『グローバル化する“正義”の人類学——国際社会における法形成とローカリティ』. p. 368. pp. 199–232. 昭和堂. 2019.

#### D. 一般学術論文

- 岡田泰平. 書評. 末廣昭 『タイ 中進国の模索』——東南アジアの社会. 『歴史評論』. **829**. pp. 57–64. 歴史科学協議会. 2019.

#### F. その他の業績

- 岡田泰平. 書評. 早瀬晋三 『グローバル化する靖国問題——東南アジアからの問い』. 『同時代史研究』. **12**. pp. 95–99. 同時代史学会. 2019.
- 岡田泰平. 新刊紹介. 宇田川幸大 『考証 東京裁判——戦争と戦後を読み解く』. 『赤旗』. 2019.3.24. p. 8. 2019.
- 岡田泰平. 新刊紹介. ジェフリー・ブレイニー著, 南塚信吾監訳 『小さな大世界史——アフリカから出発した人類の長い旅』. 『歴史評論』. **830**. p. 108. 歴史科学協議会. 2019.
- 岡田泰平. 新刊紹介. U-PARL 編 『世界の図書館から——アジア研究のための図書館・公文書館ガイド』. 『専門図書館』. **296**. pp. 64–65. 専門図書館協議会. 2019.7.

#### G. 国際学会

- National Conference on the 75th Anniversary of the 1944 Leyte Landings (The Philippines). The National Historical Commission of the Philippines. Leyte Normal University, Tacloban, Leyte, the Philippines. 2019.10.17–19. 招待講演. Recapturing War Zones in Comparison: Leyte and Central Visayas. 英

語。

#### H. 国内学会

- 比較教育社会史研究会 2019 年春季例会, 青山学院大学, 東京, 2019.5.11, 招待講演, 植民地教育と「近代」——二つのナショナルヒストリーと越境史の視点から。

#### I. その他の研究活動

- 第 24 回フィリピン研究会全国大会, 名古屋大学, 2019.6.22, 一般発表, Two Modernities and Education—The Philippines and the United States at the Turn of the Century. 英語。
- HMC オープンセミナー, 東京大学ヒューマニティーズ・センター, 東京大学, 2019.4.26, 一般発表, 日本占領期の性——米兵の残した文学作品から。

### 小川浩之 (OGAWA Hiroyuki)

#### B. 分担執筆

- 小川浩之, 加盟国拡大と政治協力の起点——イギリスの欧州経済共同体への第一次加盟申請とエリゼ条約, 1958～1963 年, 益田実・山本健 (編者), 『欧州統合史——二つの世界大戦からブレグジットまで』, p. 368, pp. 92–130, ミネルヴァ書房, 2019。

#### C. レフリー付き学術論文

- Ogawa, H. Harold Macmillan's Commonwealth Tour of 1958 Revisited: The Case of New Zealand and Australia. *The East Asian Journal of British History*, 7, pp. 63–81. The East Asian Society of British History, 2019.

#### F. その他の業績

- 小川浩之, 書評, 大久保明 『大陸関与と離脱の狭間で——イギリス外交と第一次世界大戦後の西欧安全保障』 (名古屋大学出版会, 2018), 『国際安全保障』, 47.2, pp. 114–118, 2019。
- 小川浩之, 書評, 小川健一 『冷戦変容期イギリスの核政策——大西洋核戦力構想におけるウィルソン政権の相克』 (吉田書店, 2017), 『史学雑誌』, 128.7, pp. 69–79, 2019。

#### G. 国際学会

- The 4th UTokyo-NTU Joint Conference. The University of Tokyo. Komaba Campus, The University of Tokyo, 2019.12.9–10, 一般発表, Public Health, Agricultural Administration and Colonial Policy Studies in Prewar Japan: The Case of Shimpei Goto and Inazo Nitobe. 英語。
- The 4th UTokyo-NTU Joint Conference. The University of Tokyo. Komaba Campus, The University of Tokyo, 2019.12.9–10, Emerging Medical Narratives. Session 2 (Bodies With/Without Actions), Session 3 (Colonial Policy and Narrative of Health). 英語, 司会。

#### H. 国内学会

- 国際関係史学会 (CHIR-JAPAN) 研究会, 国際関係史学会 (CHIR-JAPAN), 立教大学池袋キャンパス, 2019.10.26, 一般発表, 米欧同盟史の再考——『アメリカとヨーロッパ——揺れる同盟の 80 年』を読む～ヨーロッパの視点から～。

- 日本政治学会 2019 年度研究大会, 日本政治学会, 成蹊大学, 2019.10.5–6, 一般発表, イギリス外交史のなかの「ブレグジット」——ヨーロッパから「帝国」への回帰?.

#### I. その他の研究活動

- 小川浩之, 取材協力, 「事実上の国民投票」12 日総選挙, 『読売中高生新聞』, 2019.12.6, p. 3, 読売新聞東京本社.
- 小川浩之, 監修, 『TRANSIT』, 45, pp. 102–105, 講談社, 2019.

### キハラハント愛 (KIHARA-HUNT Ai)

#### B. 分担執筆

- Kihara-Hunt, A., An Examination of the force used by Kidoutai (riot police) and Japan Coast Guard. Takahashi, S. *Civil and Political Rights in Japan—A Tribute to Sir Nigel Rodley*. pp. 42–54. Routledge, 2019.
- Kihara-Hunt, A., Discrimination against Women in the Sphere of Marriage and Family Life. Takahashi, S. *Civil and Political Rights in Japan—A Tribute to Sir Nigel Rodley*. pp. 68–83. Routledge, 2019.

#### F. その他の業績

- キハラハント愛, 研究発表, Security Sector Reform, 防衛大学, 2019.10.11, Accountability of Police in Japan.
- キハラハント愛, 研究発表, High Level Roundtable on Sexual Exploitation and Abuse in UN Peace Operations, 東京大学ヒューマニティーズセンター, ニューヨーク・日本政府国連代表部, 2019.9.3, Legal Accountability for Sexual Exploitation and Abuse in UN Peace Operations, 英語, 企画運営委員長, 司会, 研究発表.
- Kihara-Hunt, A. 研究発表, UN Conduct: From Social to Legal Accountability for Sexual Exploitation and Abuse in Peacekeeping Operations, 東京大学ヒューマニティーズセンター, 東京大学本郷キャンパス, 2019.8.9, 英語.
- キハラハント愛, ウェブ記事, Dr. Ai Kihara-Hunt, Associate Professor at the Graduate Program on Human Security, the University of Tokyo, presented a paper at the ACUNS Plenary Panel III, focusing on crime, conflict and development (22/06/2019), 日本国際平和構築協会, 2019, <http://www.gpaj.org/2019/06/22/18011>.
- Kihara-Hunt, A. 研究発表, Why is the UN failing to mitigate sexual exploitation and abuse in Peace Operations?—From social behavioral science perspectives, 東京大学ヒューマニティーズセンター, 東京大学本郷キャンパス, 2019.4.12, 英語.

#### G. 国際学会

- The 19th Trilateral East Asian Seminar on the United Nations System—Multilateralism in East Asia and the United Nations, Korea Academic Council on the United Nations System (KACUNS), The Korea Foundation for Advanced Studies, Seoul, 2019.11.7–9, 一般発表, Cooperation in the Rule of Law and

Policing at the United Nations System. 英語.

- Academic Council on the United Nations System (ACUNS) Annual Meeting—The UN and Africa: Progress Towards Achieving the SDGs. ACUNS. Stelenbosch. 2019.6.19–22. 招待講演. The Relationship between the Rule of Law and Development. 英語. 研究発表, 理事.
- British International Studies Association (BISA) Annual Meeting. BISA. London. 2019.6.12–14. 一般発表. The Effects of Sexual Exploitation and Abuse (SEA) on UN police Operations. 英語.

#### H. 国内学会

- 開発学会・人間の安全保障学会合同年次会「難民・移民と教育・雇用」. 開発学会・人間の安全保障学会. 東京大学駒場キャンパス. 2019.11.16–17. 一般発表. Influence of Sexual Exploitation and Abuse on UN Police Operations. 英語. 研究発表, 運営委員, コメンテーター, 座長.
- 東京平和構築フォーラム 2019. 日本国際平和構築協会. 国際協力機関 (JICA). 2019.11.2. 一般発表. Emerging Powers and Human Rights in the Peace Process. 理事. 研究発表, コメンテーター.

#### I. その他の研究活動

- 赤十字国際委員会 (ICRC) 国際人道法模擬裁判大会. 赤十字国際委員会. 2019.11.30–12.1. 日本全国大会. 東京大学チーム優勝. コーチ.
- 赤十字国際委員会 (ICRC) 国際人道法ロールプレイ大会. 赤十字国際委員会. 2019.11.16–17. アジア地域大会. 東京大学チーム (日本代表) 優勝. コーチ.
- キハラハント愛. 講演. 東京大学金曜講座. 東京大学. 2019.10.4. 平和構築の鍵を握る治安部門.
- 赤十字国際委員会 (ICRC)・「人間の安全保障」プログラム 国際人道法ロールプレイ大会. 赤十字国際委員会・「人間の安全保障」プログラム. 2019.9.8. 日本全国大会. 東京大学チーム優勝. コーチ, 企画運営委員長.
- 赤十字国際委員会 (ICRC)・「人間の安全保障」プログラム Symposium on Contemporary Challenges of International Humanitarian Law Panel Discussion: Human Control over Autonomous Weapon Systems Commemorating the 70th Anniversary of the Geneva Conventions. 赤十字国際委員会・「人間の安全保障」プログラム. 2019.9.7. 企画運営委員長, 司会.
- 東京大学ヒューマニティーズセンターセミナー. Recording Atomic-Flash Burns, Archiving and its Living Legacy. 2019.8.12. 英語. 企画運営, 司会.
- 赤十字国際委員会 (ICRC) 国際人道法模擬裁判大会. 赤十字国際委員会. 2019.3.6–9. アジア地域大会. 東京大学チーム (日本代表) 参加. コーチ.
- キハラハント愛. ヒューマニティーズセンター研究プロジェクト「国連平和活動における犯罪の防止についての法的・社会的検証」. 2018.10.1–2019.9.30. プロジェクトリーダー.

#### 木宮正史 (KIMIYA Tadashi)

- B. 分担執筆 (12 月末に出版されたので, 前年度に掲載されるべき情報が漏れたもの)

- 기미야다다시(木宮正史). 한일관계의 “잃어버린 19년”을 돌아보며: 한일파트너십 공동선언과 그 후(日韓關係の「失われた19年」を振り返って: 日韓パートナーシップ宣言とその後). 金大中-小淵共同宣言記念行事委員会編, 『긴대중-오부치 게이조 공동선언 20주년과 동아시아 미래비전(金大中-小淵恵三共同宣言 20周年と東アジア未来ビジョン)』, p. 347. pp. 118-128. 트리뷰 (ツリーポップ), 2018.

#### D. 一般学術論文

- 木宮正史. オピニオン 非核化をめぐる朝鮮半島情勢と日韓関係の展望. 『世界平和研究』, 222. pp. 38-41. 平和政策研究所, 2019.
- 木宮正史. 日韓協力の先に現出する持続可能な関係. 『月刊公明』, 163. pp. 56-61. 公明党, 2019.
- 기미야다다시(木宮正史). 일본에서 보는 2019년 한반도와 북한문제(日本から見た2019年朝鮮半島と北朝鮮問題). 『코리아리포트(코리아레포트)』, 3. pp. 26-27. POSTEC(浦項工業大学) 平和研究所, 2019.
- 木宮正史. 米朝会談の深層と日本の針路. 『潮』, 723. pp. 98-101. 潮出版社, 2019.

#### F. その他の業績

##### 書評・自著紹介

- 木宮正史. 自著紹介. UTokyo Biblio Plaza, 李鍾元・木宮正史編 『朝鮮半島 危機から対話へ変動する東アジアの地政図』(岩波書店, 2018年). [https://www.u-tokyo.ac.jp/biblioplaza/ja/E\\_00142.html](https://www.u-tokyo.ac.jp/biblioplaza/ja/E_00142.html). [https://www.u-tokyo.ac.jp/biblioplaza/en/E\\_00142.html](https://www.u-tokyo.ac.jp/biblioplaza/en/E_00142.html). <https://twitter.com/utokyobiblio>.
- 木宮正史. 書評. 植民地主義の問題に取り組まなかった「1965年体制」: 吉澤文寿編著 『歴史認識から見た戦後日韓関係』(社会評論社, 2019年). 『公明新聞』, 2019.11.25.
- 木宮正史. 書評. 人権を犠牲にする関係悪化: 伊藤孝司 『ドキュメント朝鮮半島から見た〈日本〉』(岩波書店, 2019年). 『公明新聞』, 2019.8.12.
- 木宮正史. 書評. 金子文夫・宣在源編著 『韓国経済発展の始動』(日本経済評論社, 2018年). 『社会経済史学』, 85.2. pp. 121-124.
- 木宮正史. 自著紹介. UTokyo Biblio Plaza, 木宮正史 『ナショナリズムから見た韓国・北朝鮮近現代史』(講談社, 2018年). [https://www.u-tokyo.ac.jp/biblioplaza/ja/D\\_00143.html](https://www.u-tokyo.ac.jp/biblioplaza/ja/D_00143.html). [https://www.u-tokyo.ac.jp/biblioplaza/en/D\\_00143.html](https://www.u-tokyo.ac.jp/biblioplaza/en/D_00143.html).
- 木宮正史. 書評. 富樫あゆみ 『日韓安全保障協力の検証: 冷戦以後の「脅威」をめぐる力学』(亜紀書房, 2017年). 『アジア研究』, 65.1. pp. 118-121.

##### 新聞記事

- 木宮正史. 外務省招聘訪日韓国記者団とのインタビュー. 『聯合ニュース』, 2019.12.25.
- 木宮正史. インタビュー. 韓国憲法裁判所の慰安婦合意に関する違憲訴訟却下. 『讀賣新聞』, 2019.12.28.
- 木宮正史. コラム 「グローバルインサイドアウト それでも日韓の安保協力は重要だ」. 『ソウ

- ル新聞』。2019.12.4. 韓国語。
- 木宮正史. インタビュー. 日韓双方とも国際関係の中で迷走する最中, 新たな共通の視点を探さなければ, 『ソウル新聞』, 2019.11.28. 韓国語。
  - 木宮正史. インタビュー. 韓国政府 GSOMIA 破棄猶予, 『韓国日報』, 2019.11.26. 韓国語。
  - 木宮正史. コラム 「グローバルインサイドアウト 日本の「平和憲法」をめぐるいくつかの誤解」, 『ソウル新聞』, 2019.11.6. 韓国語。
  - 木宮正史. インタビュー. 徴用工 こじれる日韓, 『朝日新聞』, 2019.10.11.
  - 木宮正史. コラム 「グローバルインサイドアウト 『文在寅外交』のリアリズムのために」, 『ソウル新聞』, 2019.10.9. 韓国語。
  - 木宮正史. インタビュー. 韓日互いに相手にできないという考えを捨て最小限の妥協を試みなければ: 木宮正史東京大学教授の韓日葛藤分析, 『京郷新聞』, 2019.10.4. 韓国語。
  - 木宮正史. 日韓間の徴用工判決をめぐる対立に関する発言. 財団法人韓半島平和作り主催, 中央日報後援の『韓日共同セミナー 葛藤を超え, 共生のための日韓関係へ』, 『中央日報』, 2019.9.26. 韓国語。
  - 木宮正史. 発言席 日韓改善へ財団設立を. 共同通信配信, 『愛媛新聞』, 2019.9.24. など。
  - 木宮正史. 強制徴用賠償 2+1 で解決しなければ 東北アジア専門家診断, 『中央日報』, 2019.9.12. 韓国語。
  - 木宮正史. コラム 「グローバルインサイドアウト 日韓軍事情報保護協定破棄の衝撃」, 『ソウル新聞』, 2019.9.11. 韓国語。
  - 木宮正史. 废除《日韩军事情报保护协定》带来的冲击, 『星州日報』, 2019.9.5. 中国語。
  - Kimiya, T. The Shock of South Korea's Withdrawal from GSOMIA. *My Sinchew*. 2019.9.2. 英語。
  - 木宮正史. インタビュー. GSOMIA 終了 日本の専門家, 象徴的な枠組みがなくなり, 米韓関係にも影響, 『聯合ニュース』, 2019.8.22. 韓国語。
  - 木宮正史. コラム 「グローバルインサイドアウト 韓日民間交流勧める大統領演説を聞きたい」, 『ソウル新聞』, 2019.8.14. 韓国語。
  - 木宮正史. インタビュー. 韓日関係解法 「韓国, 大法院判決と請求権協定の両立が可能名妙案を提示しなければ」, 『ニュースピム』, 2019.8.7. 韓国語。
  - 木宮正史. インタビュー. 「批判材料になる懸念」あいちトリエンナーレ. 共同通信配信 『神奈川新聞』, 2019.8.6. など。
  - 木宮正史. インタビュー. 日韓関係, 『国民日報』, 2019.7.29. 韓国語。
  - 木宮正史. インタビュー. 2000 字インタビュー 23 『韓国は「2 プラス 1」を提案すれば妥協の可能性も生まれる』, 『ソウル新聞インターネット版』, 2019.7.23. 韓国語。
  - 木宮正史. インタビュー. 日本の参議院選挙後の日韓関係, 『東亜日報』, 2019.7.22. 韓国語。
  - 木宮正史. インタビュー. 日本の参議院選挙後の日韓関係, 『聯合ニュース』, 2019.7.22. 韓国語。

- 木宮正史. インタビュー. 日本の対韓輸出規制措置. 『韓国経済新聞』. 2019.7.19. 韓国語.
- 木宮正史. コラム 「グローバルインサイドアウト 輸出規制措置 文在寅の選択」. 『ソウル新聞』. 2019.7.17. 韓国語.
- 木宮正史. インタビュー. 「徴用工」判決を契機とした日本の対韓輸出規制措置をめぐる日韓関係. 『毎日経済新聞』. 2019.7.11. 韓国語.
- 木宮正史. インタビュー. 和解癒やし財団の解散に関する識者談話. 共同通信配信 『北日本新聞』. 2019.7.6. など.
- 木宮正史. 論説空間 代理戦争を超えた見方も 朝鮮戦争から振り返る半島の歴史. 『東京大学新聞』. 2019.6.25.
- 木宮正史. インタビュー. 習近平訪朝. 『西日本新聞』. 2019.6.21.
- 木宮正史. コラム 「グローバルインサイドアウト 米中葛藤に直面する韓日」. 『ソウル新聞』. 2019.6.19. 韓国語.
- 木宮正史. コラム 「グローバルインサイドアウト 共和制韓国と君主制日本」. 『ソウル新聞』. 2019.5.22. 韓国語.
- 木宮正史. インタビュー. 文在寅政権2年に関する海外専門家の評価. 『聯合ニュース』. 2019.5.7. 韓国語.
- 木宮正史. インタビュー. 日韓関係に関する文在寅大統領の発言. 『東亜日報』. 2019.5.3. 韓国語.
- 木宮正史. インタビュー. 新天皇即位. 『東亜日報』. 2019.5.2. 韓国語.
- 木宮正史. インタビュー. 危機の韓日関係: 韓日専門家両国葛藤の診断. 『東亜日報』. 2019.4.29. 韓国語.
- 木宮正史. コラム 「グローバルインサイドアウト 最悪の韓日関係, どのようにすべきか」. 『ソウル新聞』. 2019.4.24. 韓国語.
- 木宮正史. インタビュー. 日韓関係. 『東亜日報』. 2019.4.2. 韓国語.
- 木宮正史. インタビュー. 韓日関係改善のため首脳間のコミュニケーションが切実. 『韓国日報電子版』. 2019.3.27. 韓国語.
- 木宮正史. インタビュー. 出口の見えない日韓関係. 『韓国日報』. 2019.3.27. 韓国語.
- 木宮正史. インタビュー. 日韓関係の現状と診断. 『中央日報』. 2019.3.27. 韓国語.
- 木宮正史. コラム 「グローバルインサイドアウト 非核化に日本を貢献させようと思うなら」. 『ソウル新聞』. 2019.3.27. 韓国語.
- 木宮正史. インタビュー. 第2次米朝首脳会談決裂. 『毎日経済新聞』. 2019.3.2. 韓国語.
- 木宮正史. インタビュー. 第2次米朝首脳会談決裂. 『聯合ニュース』. 2019.2.28. 韓国語.
- 木宮正史. コラム 「グローバルインサイドアウト 文喜相議長発言と日韓関係」. 『ソウル新聞』. 2019.2.27. 韓国語.
- 木宮正史. インタビュー. 陰謀論に囚われる日韓, これで北朝鮮問題を解決できるのか: 東大

教授・木宮正史さんインタビュー。『J-Cast ニュース』。2019.2.24.

- 木宮正史. 慶應義塾大学現代韓国研究所開所 10 周年記念シンポジウムで北朝鮮の核問題に関する日韓関係の発言。『東亜日報』。2019.2.11. 韓国語。
- 木宮正史. コラム「グローバルインサイドアウト 韓国の「反日カード」と日本の「反韓カード」」。『ソウル新聞』。2019.1.16. 韓国語。
- 木宮正史. インタビュー. 文在寅韓国大統領の新年記者会見についての識者コメント. 共同通信配信『西日本新聞』。2019.1.11. など。

雑誌・インターネットのエッセイ・インタビュー・座談会など。

- 木宮正史. 고조되는 한일갈등에 관한 소감 (高まる韓日葛藤に関する所感). 韓国社会科学院社会科学院フォーラム. <http://www.iss88.kr/>. 2019.10.10. 韓国語。
- インタビュー. 木宮教授に聞く 日韓の協力は可能——徴用工判決日本企業も自発的拠出を。『Janet (時事通信社)』。2019.8.30. <https://janet.jiji.com/>。
- 木宮正史. 日本と韓国の「葛藤」はなぜ過激化したのか、すれ違いの構造を解く。両国の視点から考える。『現代ビジネスオンライン (講談社)』。2019.8.28. <https://gendai.ismedia.jp/articles/-/66799>。
- 木宮正史. 日韓関係の危機をどう克服するのか. SGRA (渥美国際交流財団・関口グローバル研究会) かわらばん. **782**. 2019.8.1. <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/sgra/>。
- 座談会. 韓日両国関係発展方案のための座談会 上・下 韓日関係専門学者 3 名の座談会. 『週刊うれしい消息新聞』。761-762. 2019.5.10, 5.17. 韓国語. <http://www.igoodnews.or.kr/news/articlePrint.html?idxno=7617>, <http://www.igoodnews.or.kr/news/articleView.html?idxno=7635>。
- 木宮正史. 「米朝交渉決裂は日本が黒幕」説の疑問. 『ニューズウィーク日本語版』。1644. p. 18.
- Kimiya, T. The Hanoi Summit and Japan-South Korea Relations. The Diplomat. May 6, 2019.5.6. <https://thediplomat.com/2019/05/the-hanoi-summit-and-japan-south-korea-relations/>。
- 木宮正史. 北朝鮮非核化の主導権を虎視眈々と狙う文在寅「逆転シナリオ」。『産経 iRONA』。2019.2.27. <https://ironna.jp/article/12018>。

#### G. 国際学会

- 第 4 回 歴史和解のための韓日フォーラム. 韓国東北アジア歴史財団. フレイザーパレスホテル. 2019.12.14. 日韓歴史和解をめぐる政治学. 日韓同時通訳. 日本側責任者。
- 公開シンポジウム 20 世紀東アジア史から現代世界を考える. 日本国際問題研究所. 霞ヶ関プラザホール. 2019.12.10. 6 人のパネルディスカッション. 日英同時通訳。
- ソウル新聞平和研究所 2019 秋季セミナー 韓日関係と韓半島平和プロセス. ソウル新聞平和研究所・共に民主党姜昌一議員室. 汝矣島国会議員会館第 3 セミナー室. 2019.11.27. 招待講演. 北東アジア国際関係の変容と高まる日韓葛藤. 韓国語。
- 東アジア国際秩序と韓半島: 周辺国の観点. 韓国忠南大学政治外交学科, 社会科学研究所, 統一教育事業団, 平和安保研究所. 忠南大学社会科学大学講義棟ハヌリダンダン. 2019.11.15. 招

待講演。北東アジア国際関係の変容と高まる日韓葛藤。韓国語。

- 公共外交と立法機関への期待。早稲田大学国際和解学研究センター，韓国高麗大学平和と民主主義研究所。早稲田大学 14 号館 101 教室。2019.11.5。5 人のパネルディスカッション。
- 2019 年度日本国際政治学会研究大会日韓国際政治学会合同部会，Japan, Korea and the Post-Cold War Era。日本国際政治学会。新潟市朱鷺メッセ国際会議場。2019.10.19。討論。英語。
- 韓日共同セミナー 葛藤を超え、共生のための日韓関係へ。財団法人韓半島平和作り。韓国プレスセンターナショナルプレスクラブ 20 階。2019.9.25。招待講演。パネルディスカッション 韓日関係回復への道：強制徴用問題を中心に。日韓同時通訳。
- 第 3 回歴史和解のための日韓フォーラム。韓国東北アジア歴史財団。東京プリンスホテル。2019.7.16。日韓歴史和解のための政治学。日韓同時通訳。日本側責任者。
- 朴喆熙ソウル大学教授講演会：日韓関係の溝は埋められるのか。東京大学韓国学研究中心。東京大学駒場 I キャンパス 18 号館コラボ 1。2019.7.10。日本語。司会，討論，主催者。
- 第 26 次日韓政策対話。世宗研究所日本研究センター，韓国外交部，日本国外務省。ホテル日航奈良。2019.7.5。日韓同時通訳。司会・日本側責任者。
- International Leadership Conference Toward Peace and Security in Northeast Asia: Interdependence, Mutual Prosperity and Universal Values. Universal Peace Federation。韓国ロッテホテル。2019.5.17。招待講演。朝鮮半島情勢と日韓関係（日本語，韓国語）。日英韓同時通訳。
- Commemorative Seminar on The 20th Anniversary of China-Japan-Korea Trilateral Cooperation. 中国外交学院，日中韓三国協力事務局。北京釣魚台迎賓館。2019.4.12。中国をめぐる日韓関係。日中韓同時通訳。招待講演。
- 3・1 運動及び大韓民国臨時政府樹立 100 周年記念国際学術フォーラム。3・1 運動及び大韓民国臨時政府樹立 100 周年記念事業推進委員会。韓国プレスセンター国際会議場。2019.3.28-29。英韓同時通訳。討論者（招待）。
- 第 18 回日韓アジア未来フォーラム 日韓関係の現在地と改善案。韓国未来人力研究院，渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）。ソウル未来人力研究院会議室。2019.3.23。招待講演。日韓関係をどう「科学」し、「実践」するのか。日韓同時通訳。
- 第 25 次日韓政策対話。世宗研究所日本研究センター・韓国外交部・日本国外務省。済州島西帰浦 KAL ホテル。2019.3.22。日韓同時通訳。日本側責任者・司会。
- 〈3・1 運動 100 周年記念特別学術大会〉『抵抗民族主義を超えて：北東アジアの平和協力のための韓国外交の新たな地平の模索』。韓国国際政治学会。一般発表。韓国プレスセンター国際会議場。2019.3.15。南北「統一民族主義」の競争。韓国語。
- 日韓有識者非公式対話。日本財団。ホテルニューオータニクレセント会議室。2019.2.9。日韓同時通訳。パネリスト。
- 慶應義塾大学東アジア研究所現代韓国研究センター開所 10 周年記念シンポジウム『北東アジアの新しい秩序構想』。慶應義塾大学東アジア研究所現代韓国研究センター。慶應義塾大学三田

キャンパス北館ホール, 2019.2.9. 日韓同時通訳, 討論 (招待).

#### H. 国内学会

- 討論集会 日韓関係改善の道, 声明「韓国は「敵」なのか」呼びかけ世話人, 日本教育会館, 2019.12.1. 日韓国交正常化とは何であったのか.
- 現代韓国朝鮮学会第20回研究大会 自由論題A: 韓国の政治, 現代韓国朝鮮学会, 慶應義塾大学日吉キャンパス, 2019.11.9. 司会, 討論.
- 2019年度日本政治学会 分科会B-7自由論題企画「現代韓国における教育, 社会運動, 福祉の政治」, 日本政治学会, 成蹊大学, 2019.10.4. 司会・討論.
- 内閣官房安全保障研究会, 霞山会館, 2019.9.30. 最近の朝鮮半島情勢・日韓関係.
- 朝鮮問題勉強会, 朝鮮問題を考えるジャーナリスト懇話会, 日本記者クラブ会議室, 2019.9.27. 日韓関係の原状と展望.
- アジアの地域協力の学術ネットワーク構築, 日本学術会議地域研究委員会アジアの地域協力の学術ネットワーク構築分科会, 日本学術会議, 2019.9.4. 日韓の葛藤とその構造的要因: 学術協力の役割は何か.
- 冷戦史研究会書評会金恩貞『日韓国交正常化の政治史』(千倉書房, 2018年), 冷戦史研究会, 東京大学韓国学研究所, 東京大学駒場Iキャンパス18号館コラボ3, 2019.6.15. 主催者, 書評.
- 学術セミナー講演会, 環日本海国際学術交流協会, ホテル金沢藤の間, 2019.6.9. 漂流する日韓関係: 何をどのように打開するのか, 招待講演.
- 危機に立つ日本の韓国研究とその教育, 東京大学韓国学研究所, 東京大学駒場Iキャンパス18号館コラボ1, 2019.5.25. 主催者, 討論者, 司会.
- 朝鮮半島冷戦史研究会『朝鮮半島の今を考える』, 東京大学韓国学研究所, 東京大学駒場Iキャンパス18号館コラボ1, 2019.2.15. 主催者, 討論者, 司会.
- 研究会『朝鮮半島の今を知る20』, 日本記者クラブ, 日本プレスセンター記者会見場, 2019.1.31. 招待講演, 2019年朝鮮半島情勢と日本の立ち位置.

#### I. その他の研究活動.

##### 放送出演

- BS テレビ東京, 日経モーニングプラス, 日中韓首脳会談, 2019.12.24.
- BSTBS, 報道1930, 歴史教科書 韓国は日本をどう伝えているか, 2019.12.2.
- BS フジテレビ, プライムニュース, 日韓 GSOMIA 破棄 “凍結” 文大統領の思惑と東アジア情勢を読む, 2019.11.25.
- NHK テレビ, ニュース9, 韓国徴用工問題をめぐる大法院判決から1年, 2019.10.30.
- 韓国 MBC テレビ, ニュースデスク, 日本の安倍内閣改造, 2019.9.11.
- NHK ラジオ, 三宅民夫のマイあさ! 三宅民夫の真剣勝負, 混迷する日韓関係のいま, 2019.9.11.

- 日本テレビ, ZIP!, 韓国情勢 (曹国氏法相指名に関する解説), 2019.9.2-3.
  - BS テレビ東京, 日経モーニングプラス, 韓国が GSOMIA 破棄 日韓関係改善遠く, 2019.8.23.
  - BS フジテレビ, プライムニュース, 日韓外相会談で対立緩和の“糸口”は見いだせたのか?, 2019.8.21.
  - BS テレビ東京, NIKKEI プラス 10 サタデーニュースの疑問, 2019.8.3.
  - BSTBS, 報道 1930, 今日の視点日韓輸出規制問題, 2019.7.10.
  - BS フジテレビ, プライムニュース, 米朝協議担当者“処刑”報道の余波, 2019.6.3.
  - 韓国 MBC テレビ, ニュースデスク, 日朝首脳会談に前向きな安倍首相発言, 2019.5.8.
  - BSTBS, 報道 1930, 日韓関係に重大局面: 徴用工裁判 原告が企業資産を現金化, 2019.2.20.
  - NHK テレビ, ニュース 7, 悪化する日韓関係, 2019.2.13.
  - 韓国 SBS テレビ, 午後 8 時のニュース, レーダー照射問題をめぐる日韓関係, 2019.1.26.
  - BSTBS, 報道 1930, 首相の側近が語る“安倍外交”の行方, 2019.1.15.
  - フジテレビ, プライムニュース, 日韓関係, 2019.1.15.
- 講演会など.
- 韓国政治の構造と動態: 選挙制度, 政党体制など, 国会図書館立法調査局, 国会図書館会議室, 2019.9.11.
  - 日韓関係の現状と展望: 何のためにどのように協力するのか, 富山県日韓友好議員連盟総会, 富山国際会議場メインホール, 2019.8.9.
  - 漂流する出口の見えない日韓関係, 永楽倶楽部グローバルスタディ, 赤坂永楽倶楽部, 2019.8.5.
  - The Structure of Korea-Japan Relations: Their Evolution/Detrrioration? and Present Situation, ソウル大学・東京大学サマージョイントセミナー, 東京大学本郷キャンパス理学部 1 号館 1 階 Go Global Center 会議室, 2019.8.5, 英語.
  - 戦後日朝関係の展開, かわさき市民アカデミー 2018 年度後期世界史講座『世界史の中の日本と朝鮮——19 世紀から 21 世紀まで』, 川崎市生涯学習プラザ, 2019.1.18.
  - 朝鮮半島の歴史と現状に関する講座, 朝日カルチャーセンター新宿教室, 2019.1.8, 2.12, 3.12.

## 斎藤文子 (SAITO Ayako)

### H. 国内学会

- 第 37 回清泉女子大学公開講座土曜自由大学, 清泉女子大学, 2019.5.11. 講演, 文学の力, ことばの力——キューバの作家たちの挑戦——.

### I. その他の研究活動

- 明大生スペイン語スピーチコンテスト, 明治大学駿河台キャンパス, 2019.11.23. 審査委員長.
- 第 61 回 読んでいいとも! ガイブンの輪 豊崎由美×野谷文昭×斎藤文子×柳原孝敦×久野量一, B&B, 東京下北沢, 2019.8.17. トークイベント.

## 佐藤安信 (SATO Yasunobu)

### G. 国際学会

- 37th Symposium on Economic Crime. The Centre for International Documentation on Organised and Economic Crime (CIDOEC). University of Cambridge, Jesus College. 2019.9.7. 講演. Dark Side of Development: Cases in Cambodia and Myanmar the under the Belt & Road Initiatives (BRI). 英語.
- Conference of One Belt and One Road (CIDOEC). Chinese International Commercial Court (CICC) and Japan: possible cooperation for the rule of law in Asia. 英語.
- アジア国際法学会日本協会の大会. アジア国際法学会日本協会. 明治学院大学. 2019.7.14. 発表 (査読あり). Network Governance for the Global Compact on Refugees: Possibility of Asian Network on Refugees and International Protection. 英語.

### H. 国内学会

- 11月16-17日 駒場キャンパス. 「人間の安全保障」学会と国際開発学会共催大会: 共通テーマ「難民/移民と教育/就労」大会実行委員長, 基調講演で趣旨説明, 17日の「難民とブロックチェーン」の企画ラウンドテーブルセッションの座長, 「難民と教育」の特別企画セッションの趣旨説明 (英語)
- アジア法学会. 東京大学本郷キャンパス. 2019.6.22. ベトナムにおける国際商事仲裁と民事訴訟の実務: 私はなぜハノイ人民裁判所に訴えられたのか?.

### I. その他の研究活動

- 佐藤安信. 「人間の安全保障」プログラム (HSP)・グローバル地域研究機構持続的平和科学研究費補助金基盤 A 東アジアにおける正義のためのアクセスのためのネットワークガバナンスの検証. 研究センター長.

## 菅 豊 (SUGA Yutaka)

### A. 著書

- 菅豊, 北條勝貴編. 『パブリック・ヒストリー入門——開かれた歴史学への挑戦』. p. 269. 勉誠出版. 2019.

### B. 分担執筆

- 菅豊. 東アジアの国家をめぐる協調と競争: 跨国文化としての鑑賞錦鯉文化の協働的創造活動. 陳尚勝, 楊魯慧, 余東華. 『東亜運命共同体——首屆山東論壇會議論文集』. p. 353 pp. 99-110. 山東大学出版社. 2019.
- 菅豊. パブリック・ヒストリー——現代社会において歴史学が向き合うひとつの方向性. 菅豊, 北條勝貴編. 『パブリック・ヒストリー入門——開かれた歴史学への挑戦』. p. 269 pp. (1)-(12). 勉誠出版. 2019.
- 菅豊. パブリック・ヒストリーとはなにか. 菅豊, 北條勝貴『パブリック・ヒストリー入門——開かれた歴史学への挑戦』. p. 269 pp. 3-68. 勉誠出版. 2019.

### C. レフリー付き学術論文

- 菅豊. 공공민속학의 가능성과 과제 - 학문의 공공성이 문제되는 시대에 민속학은 어떻게 대응할 것인가? 『실천민속학연구』, **34**, pp. 9-37. 韓國实践民俗学会, 2019.
- 菅豊. 共約不可能性 (incommensurability) に民俗学はいかに対応すべきか. 『日本民俗学』, **299**, 日本民俗学会, pp. 82-87, 2019.
- 菅豊. 文化遺産の適応性管理——我們該如何應對文化遺產管理 (CHM) の不確定性?. 『中国芸術時空』, **2019-3**, 中国芸術研究院, pp. 51-59, 2019.
- 陸薇薇, 菅豊. “中国錦鯉”是如何誕生的? ——現實與虛擬空間中的“第三種文化”. 『民俗研究』, **2019-2**, 山東大学, pp. 126-135, 2019.
- 菅豊. 費孝通眼中的“羊”——印刻在家畜体内的江南農業發展史. 『南京農業大学学报 (社会科学版)』, 19-1, 南京農業大学, pp. 25-32, 2019.

### G. 国際学会

- 人文社会科学学校級百場講座. 華東師範大学人文與社会科学研究院, 社会發展学院, 上海, 2019.10.28, 招待講演. 民俗学学科中芸術論の転向——從民間芸術到支撐人們“生”的芸術 (vernacular art), 即“生”的芸術 (arts as it is lived). 中国語.
- 10th International Forum on Urban Society. East China Normal University (Shanghai). 2019.10.25-27. 招待講演. The Materiality of Spontaneous Shrines: The Formation of Urban Folklore around Unexpected Deaths. 英語.
- 中日学術大咖対談——從“田野採風”到“有温度的田野”. 東南大学外国語学院, 南京, 2019.9.25, 招待講演. 田野調查入門. 中国語.
- 東大×东大 (東京大学系列講座) 之三. 東南大学外国語学院, 南京, 2019.9.24, 招待講演. 想知道你转发的锦鲤来自哪里吗? ——全球化, 网络化时代文化变迁的模式. 中国語.
- “有温度的田野” 学術工作坊第二期・中国礼俗伝統與当代鄉村振興論壇. 山東大学儒学高等院, 北京師範大学人類学民俗学系, 濟南, 2019.6.8-9, 招待講演. 当田野成為受災地——作為方法的共情. 中国語.
- 2019 년 실천민속학회 전국학술대회. 東国大学, ソウル, 2019.2.16, 招待講演. 일본 공공민속학의 현상과 과제.

## 杉田英明 (SUGITA Hideaki)

### D. 一般学術論文

- 杉田英明. 昭和日本の『ルバイヤート』. 『ODYSSEUS』, **23**, pp. 1-36, 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻, 2019.

### F. その他の業績

- 杉田英明. エッセイ. 長澤榮治先生との40年. 『ODYSSEUS』, **23**, pp. 171-75, 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻, 2019.

- 杉田英明. シンポジウム. 第27回地域文化研究専攻公開シンポジウム〈身体〉から見る地域——医療・衛生・宗教実践. 東京大学駒場Iキャンパス. 2019.6.29. ヤフヤー・ハッキーの小説『ウナム・ハーシムのランプ』: 近代アラブ文学作品に見る科学と信仰.
- 杉田英明. 講演. 海外インフラ展開人材養成プログラム. 国立大学法人政策研究大学院大学. 2019.9.9. 比較文化・比較宗教の視点.
- 杉田英明. [アンケート回答] 2018年読書アンケート. 『みすず』. 678. 2019年1・2月合併号. pp. 88–89. 2019.

### 杉山清彦 (SUGIYAMA Kiyohiko)

#### B. 分担執筆

- 杉山清彦. ジュシェンからマンジュへ——明代のマンチュリアと後金国の興起. 古松崇志・白杵勲・藤原崇人・武田和哉. 『金・女真の歴史とユーラシア東方』(アジア遊学 233). p. 335. pp. 310–325. 勉誠出版. 2019.
- 杉山清彦. 歴史学の現場からみた「資料の活用」——マカートニーは何と出会ったか——. 前川修一・梨子田喬・皆川雅樹. 『歴史教育「再」入門 歴史総合・日本史探究・世界史探究への“挑戦”』. p. 351. pp. 20–29. 清水書院. 2019.
- SUGIYAMA, Kiyohiko (chief editor), FUJITA Akiyoshi and WATANABE Miki (author- editors). The Compartmentalized Sea, from 1700 to 1800. HANEDA Masashi and OKA Mihoko (eds.). *A Maritime History of East Asia*. p. 372. pp. 211–330. Kyoto University Press. 2019.

#### D. 一般学術論文

- 杉山清彦. 近世東アジアの二つの武人政権——大清帝国と織豊政権・徳川幕府——. 『ふびと』. 70. pp. 117–150. 三重大学歴史研究会. 2019.

#### F. その他の業績

- 杉山清彦. エッセー. ユーラシア世界の中の大清帝国——歴史学, 東洋史学. 東京大学教養学部. 『東京大学駒場スタイル』. p. 211. pp. 130–135. 東京大学出版会. 2019.
- 杉山清彦. エッセー. 「学風」と「家風」にふれて——羽田先生を送る——. 『Odysseus』. 23. pp. 189–190. 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻紀要. 2019.
- 杉山清彦. 研究報告書. 大清帝国の多民族統治と八旗制——広域支配の制度と構造——. 『2018年度大学研究助成アジア歴史研究報告書』. p. 189. pp. 97–108. 公益財団法人JFE21世紀財団. 2019.

#### H. 国内学会

- 大阪大学先導的学際研究機構グローバルヒストリー研究部門第81回Global History Seminar. 大阪大学. 2019.7.19. 招待講演. 「ユーラシアの大清帝国」と「中国の清朝」と——大清国家の歴史的位置——.
- 東京大学ヒューマンティーズセンター (HMC) 2018–2019年度オープンセミナー. 東京大学伊藤

国際学術研究センター, 2019.6.14, 招待講演, 武人政権としての大清帝国と日本近世国家,

- 第 69 回日本西洋史学会大会小シンポジウム III 「国家的な観点から見る 17 世紀以降のユーラシア世界における「人の移動」, 日本西洋史学会, 静岡大学, 2019.5.19, 一般発表, 大清帝国の広域支配と移動の諸相——征服・移駐・移住——,

#### I. その他の研究活動

- 大阪大学東洋史研究室講演会, 大阪大学東洋史研究室, 大阪大学, 2019.7.18, 「清朝史」から「大清帝国史」へ——私論・八旗制と大清帝国,
- 2019 年度長野市民教養講座「交通の諸形態と言語・交通・国家」, 長野市民講座運営委員会, 長野県長野市, 2019.7.16, 講演, 「南船北馬」の世界とシルクロードの世界,
- 岡田英弘三回忌シンポジウム「岡田英弘の歴史学とは何か」, 藤原書店, 昭和 12 年学会, 早稲田大学, 2019.5.26, 岡田英弘の歴史学とは何か,
- メトロポリタン史学会第 15 回大会シンポジウム「世界史の中の武人——越境と帝国秩序——」, メトロポリタン史学会, 首都大学東京, 2019.4.20, コメント,

#### 高橋英海 (TAKAHASHI Hiodemi)

##### B.

- Takahashi, H. Syriac Christianity in China. King, D. (ed.). *The Syriac World* (The Routledge Worlds). p. 842. pp. 625–652. Routledge. 2019.
- Takahashi, H. Barhebraeus comme philosophe : «la philosophie de Barhebraeus» ou «les œuvres philosophiques de Barhebraeus»? Fiori E., Hugonnard-Roche, H. (éds). *La philosophie en syriaque* (Études syriaques 16). Paris: Geuthner. p. 450. pp. 381–389. 2019.
- Takahashi, H. Representation of the Syriac Language in Jingjiao and Yelikewen Documents. Lieu, S.N.C., Thompson, G. (eds.), *The Church of the East in Central Asia and China* (China and the Mediterranean 1). Turnhout: Brepols. pp. 23–91. 2019 (予定).

##### F.

- Takahashi, H. 事典項目, Jacob bar Shakkō. *Encyclopaedia of Islam*, Third Edition. Part 2019-2. pp. 86–87. Leiden: Brill. 2019.

##### G.

- Second International Conference of Aramaic and Syriac Studies in Egypt and the World. Faculty of Arts, Cairo University. 2019.3.18–20. 一般発表, On Some Recent Discoveries (and Rediscoveries) Relating to Syriac Christianity in China. 英語.
- 6th Salzburg International Conference: Syriac Christianity in China and Central Asia. Zentrum zur Erforschung des Christlichen Orients, Universität Salzburg/Department of Nestorian Studies, Archeological Institute of the Academy of Sciences, Kazakhstan. Grand Hotel Tien Shan, Almaty. 2019.6.20–27. 一般発表, Syriac Fragments from Turfan at Ryukoku University, Kyoto. 英語. 司会.

- 論壇「羅馬帝国与東西方文明」, 北京大学西方古典学中心, 北京大学人文社会科学研究, 2019.10.19. 招待講演, The Role of Syriac in the Propagation and Transmission of Knowledge within and beyond the Borders of the Roman Empire. 英語.

H.

- シンポジウム「中世における光とカタチ」, 科学研究費・基盤研究(B)「古典教父研究の現代的意義——分裂から相生へ——」(研究代表者: 宮本久雄), 聖カタリナ大学北条キャンパス, 2019.11.17. コメンテーター.

### 高山大毅 (TAKAYAMA Daiki)

B. 分担執筆

- BOOT, W, J. TAKAYAMA, D. (eds.). *Tetsugaku Companion to Ogyu Sorai*. p. 187. Springer. 2019.

C. レフリー付き学術論文

- 高山大毅(著), 劉瑩(譯), 水足博泉の統治構想——荻生徂徠以後の「禮樂」論, 『儒家典籍與思想研究』, 11. pp. 264–282. 北京大學《儒藏》編纂與研究中心.

D. 一般学術論文

- 高山大毅, 「振気」論へ——水戸学派と古賀侗庵を手がかりに, 『政治思想研究』, 19. pp. 7–36. 政治思想学会, 2019.

### 竹村文彦 (TAKEMURA Fumihiko)

F. その他の業績

- 竹村文彦, コラム, 初修外国語紹介・スペイン語, 『東京大学新聞』, p. 5. 2019.

### 伊達聖伸 (DATE Kiyonobu)

B. 分担執筆

- 伊達聖伸, 政権与党と宗教団体——自民党と保守合同運動, 公明党と創価学会の關係を通して, 堀江宗正, 『宗教と社会の戦後史』, p. 348. pp. 59–85. 東京大学出版会, 2019.
- 伊達聖伸, ヴェールを被る理由, 被らない理由——ケベックのムスリム女性たちの声を聴く, 上智大学アメリカ・カナダ研究所, 『北米研究入門2——「ナショナル」と向き合う』, p. 326. pp. 89–110. 上智大学出版, 2019.

C. レフリー付き学術論文

- 伊達聖伸, 現代ケベックにおける「宗教の自由」——法廷は西洋的「宗教」概念を再強化するのか, 『アメリカ・カナダ研究』, 36. pp. 39–62. 上智大学アメリカ・カナダ研究所, 2019.

D. 一般学術論文

- Date, K. Des mythes nationaux du Japon contemporain : Entre le besoin de démythification et de déconstruction. *Bulletin of the Faculty of Foreign Studies*. 53 (2018). pp. 157–179. Sophia University. 2019.

- Date, K. Different Perspectives on the Religious in Contemporary Studies. *Sophia European Studies Series*. 12. pp. 68–71. 2019.

#### E. 翻訳

- 伊達聖伸, フィリップ・ポルティエ, 「フランスのカトリシズムの現状」, 伊達聖伸編, 『ヨーロッパの世俗と宗教』, 上智大学ヨーロッパ研究所研究叢書, 12, pp. 24–43, 2019.
- 増田一夫, 伊達聖伸, 鶴岡賀雄, 杉村靖彦, 長井伸仁, レジーヌ・アズリア／ダニエル・エルヴェー＝レジェ編著, 『宗教事象事典』, みすず書房, p. 800, 2019.
- 伊達聖伸, フランソワ・オスト, 『ヴェールを被ったアンティゴネー』, 小鳥遊書房, p. 188, 2019.

#### F. その他業績

- 伊達聖伸, 項目執筆, ライシテ, 社会思想史学会, 『社会思想史事典』, p. 856, pp. 398–399, 丸善, 2019.
- 伊達聖伸, 項目執筆, ライシテ, 新カトリック大事典編纂委員会, 『新カトリック大事典』, p. 6609, ページ数3(電子版), 研究社, 1996–2010(電子版公開2016, 「ライシテ」は2019年更新時新規編入項目).
- 伊達聖伸, コラム, フランス「スカーフ事件」から30年, いまだ分断が加速する理由——ヴェール問題の争点はどう変化してきたか, 『現代ビジネス』, 講談社, 2019.9.18.
- 伊達聖伸, コラム, 「シャルリ・エブド事件」から4年……共生と分断のはざまのフランス——新自由主義と排外主義とどう付き合うか, 『現代ビジネス』, 講談社, 2019.1.7.
- 伊達聖伸, シンポジウム記録, 現代日本におけるネイション神話の諸側面, 『ケベック研究』, 11, pp. 124–126, 日本ケベック学会, 2019.

#### G. 国際学会

- Demi-journée d'étude : Mythes nationaux et nationalisme au Japon. EHESS. Paris. 2019.2.21. 招待講演, Les mythes nationaux dans le Japon de l'après-guerre. フランス語.
- Lectures critiques sur la religion, le droit et la théorie en sciences sociales, Université Ottawa. Ottawa. 2019.3.7. 招待講演, La notion de «religion» dans la cour de justice : une étude comparée entre le Québec et le Japon. フランス語.

#### H. 国内学会

- 日本宗教学会, 帝京科学大学, 東京, 2019.9.14, ポスター発表, 西欧型政教関係の課題の変遷と分節化——英独仏西を比較する——, パネル「近代西洋的「宗教」概念をヨーロッパから相対化する」司会兼発表.
- 上智大学実践宗教学コロキウム, 上智大学, 東京, 2019.1.25, 招待講演, 現代ケベックの法と宗教——西洋近代的「宗教」概念を再生産する法廷の彼方へ.

#### I. その他の研究活動

- 世界人間学宣言座談会, 東京大学藝文書院, 東京, 2019.12.9, 発題.

- 聖心女子大学国際交流学科主催講演会。聖心女子大学。東京。2019.11.19。招待講演。イスラーム・ヴェール問題の深層——ライシテとは何か。
- 東京自由大学創立 20 周年シンポジウム。東洋経済ビル経済倶楽部。東京。2019.11.16。私たちはどう生きるか——戦後民主主義と精神史を見つめて。コメンテーター（登壇者：白井聡，赤坂真理，大澤真幸，島藺進，伊達聖伸，鎌田東二）。
- 東京大学大学院地域文化研究専攻研究集会。東京大学。東京。2019.10.10。言語と宗教から地域研究を考える——1960 年代におけるモンテリオール島のイタリア系移民を事例として。

### 田中 創 (TANAKA Hajime)

#### D. 一般学術論文

- 田中創。教会史の系譜——ローマ帝政後期における歴史叙述の伝統と変容。『西洋史研究』新輯 48。pp. 150–165。西洋史研究会。2019。

#### E. 翻訳

- 田中創 (訳)。リバニオス (著)。『書簡集 2』。p. 662。京都大学学術出版会。2019。

#### G. 国際学会

- Peking University Humanities Forum “The Roman Empire: East and West”. Center for Classical and Medieval Studies, Department of History, Peking University. 北京大学。2019.10.19。招待講演。“Between Hellenism and Christianity: Cities of the Later Roman Empire in the Acts of Chalcedon”。英語。

#### H. 国内学会

- 慶應義塾大学言語文化研究所 2019 年度公開講座「ビザンツの文化的伝統の形成」。慶應義塾大学言語文化研究所。慶應義塾大学三田キャンパス。2019.10.5。招待講演。カルケドン公会議議事録から見る初期ビザンツ社会。
- 第 69 回日本西洋史学会小シンポジウム I 「古典期アテーナイにおける討議的民主政とレトリック文化」。日本西洋史学会。静岡大学静岡キャンパス。2019.5.19。コメンテーター。古代末期の視点から。

### 谷垣真理子 (TANIGAKI Mariko)

#### E. レフェリー付学術論文

- 谷垣真理子。第二次大戦後の香港左派の形成。中国研究月報。73.3 (853)。pp. 37–45。中国研究所。2019。
- 谷垣真理子。第二次世界大戦後の香港左派の発展——学友社の事例。華南研究。5。pp. 5–23。日本華南学会。2019。
- Tanigaki, M. The Changing ‘China’ Elements in China Studies in the University of Hong Kong—The Perspective of Intellectual History. *China Report*. 54.1. pp. 99–117. Saga Journals India January 2018.

#### F. その他の業績

- エッセイ, 谷垣真理子, 解題——香港の熱い夏, UP.48.9 (563), pp. 4-6, 東京大学出版会, 2019.
- エッセイ, 谷垣真理子, 香港——民意が示された区議会選挙, 週刊金曜日, 2019.12.6 (1260), pp. 38-39, 株式会社金曜日, 2019.
- インタビュー, 変化していく「日常」を守る——香港デモの動きを振り返る, 週刊東京大学新聞, 2019.9.24 (2899), 3面, 2019.
- インタビュー, どーなる? ゼミナール——鎮静するどころか, 事態は激化の一途, ついに死者まで出た香港のデモこれからどこへ向かうのか, 毎日が発見, 2020.1, 2019.12.

#### G. 国際学会

- Tanigaki, M. International Conference on Hopes and Fears in a Divided World. Department of Chinese and History, City University of Hong Kong, City University of Hong Kong, Hong Kong. 2019.5.1-5.2. 招待講演, Exchange between Hong Kong and Taiwan during the Cold War. 英語.
- Tanigaki, M. First Annual Conference. Society for Hong Kong Studies. University of Hong Kong, Hong Kong. 2019年6月22日, 一般発表, Formation of the Leftist Group in post-war Hong Kong. 英語.
- Tanigaki, M. the 16th Biennial Conference. the Chinese Studies Association of Australia. La Trobe University, Melbourne. 2019.7.1-7.3. 一般発表, Anglo-Chinese Studies in Post-WWII Hong Kong: the Perspectives of Colonial Languages. 英語, パネルの組織及び司会.
- Tanigaki, M. One Asia Convention 2018. ワンアジア財団(日本), 韓国ソウル ロッテホテル, 2019.8.5-8.6. 招待講演, 第二次世界大戦後の香港左派の形成, 日本語.
- Tanigaki, M. Workshop on the China Studies since the end of the Cultural Revolution. National Taiwan University, 東京大学社会科学研究所現代中国研究拠点, University of Delhi. India Habitat Centre, New Delhi, India. 2019.11.21-22. 招待講演, A Case of Japan and Hong Kong. 英語.

#### H. 国内学会

- 谷垣真理子, 国際情勢研究所, 東京神谷町, 2019.10.3. 招待講演, 香港デモをめぐる現状と今後の行方, 日本語.
- 谷垣真理子, 慶応大学東アジア研究会, 慶応大学三田キャンパス, 2019.11.8. 招待講演, 香港デモ——現状と展望, 日本語.

#### I. その他の活字にならない研究活動

- 時事解説, 香港のミカタ, 教えて! NEWS ライブ——正義のミカタ, 大阪 ABC 放送, 2019年6月15日(土) 午前9時30分~11時00分.
- 時事解説, 香港デモ, ウィークリーニュース, NHK ワールド JAPAN ラジオ(英語), 2019年12月6日午後8時01分~(ニュース内コーナー3分程度).
- 講義, Changing Japan and Asian Community. ワンアジア財団依頼講義, インドネシア Universitas Bangka Belitung (2019.3.28), Universitas Pendidikan Indonesia と Universitas Pasundan (2019.3.29), 日本語.
- 講義, インドネシア教育大学の教員研修での講師, 東京大学駒場 I キャンパス, 2019.4.19, 日本

の道德教育。日本語。

### 田原史起 (TAHARA Fumiki)

#### A. 著書

- 田原史起. 『草の根の中国——村落ガバナンスと資源循環』. p. 300. 東京大学出版会, 2019.

#### D. 一般学術論文

- 田原史起. 都市 = 農村間の人的環流——中露比較の試み. 『ODYSSEUS』. **23**. pp. 65–91. 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻紀要. 2019.

#### F. その他の業績

- Tahara, F. 書評. Book Review: Gender and Employment in Rural China by Jing Song. *Development Economy*. **57.2**. pp. 194–197. 2019.
- 田原史起. エッセイ. 循環する人生——もう一つの『草の根の中国』. 『UP』. **564**. pp. 19–23. 2019.

### 土屋和代 (TSUCHIYA Kazuyo)

#### I. その他の活字にならない研究活動

- 土屋和代. 「歴史のなかの女びと」研究会. 信州大学. 2019.10.27. 一般発表. 誰のためのフェミニズムか——福祉権活動家ジョニー・ティルモンと歴史家シャーナ・バーガー・グラック.
- 日本アメリカ史学会発行『アメリカ史研究』第42号編集代表 (2018–2019年).

### 筒井賢治 (TSUTSUI Kenji)

#### F. その他の業績

- 筒井賢治. 書評. 論評. 大貫隆訳. エイレナイオス 『異端反駁 I』 『異端反駁 II』 『異端反駁 V』 (教文館, 2017年). 『新約学研究』. **47**. pp. 80–84. 日本新約学会. 2019年.
- 筒井賢治. 文庫版解説. バート・D. アーマン 『書き換えられた聖書』 (松田和也訳). pp. 373–379. 筑摩書房. 2019年.

### 鶴見太郎 (TSURUMI Taro)

#### C. レフリー付き学術論文

- 鶴見太郎. 「自己を側面に分けて考える: ロシア・ユダヤ人がロシアを離れるまでの歴史」 『東京大学アメリカ太平洋研究』 **19**. pp. 23–36. 2019.

#### F. その他の業績

- 鶴見太郎. 「ユダヤ人問題」の項目の執筆. 『ロシア文化事典』. 丸善出版. 2019.

#### G. 国際学会

- International Relations Within: Self-Complexity in Ethnic Conflict and Coexistence. 東京大学駒場キャン

ンパス, 2019年3月9日, “Jewish Self-Complexity: A Case in the Russian Empire”. 英語.

- International Relations Within: Self-Complexity in Ethnic Conflict and Coexistence. 東京大学駒場キャンパス, 2019年3月10日, “The Origin of Jewish Separatism: Extinction of an Aspect or Emergence of a New?”. 英語.
- The 10th East Asian Conference of Slavic Eurasian Studies. 東京大学本郷キャンパス, 2019年6月30日, “State or Savage: Russian Jews’ Experience of the Revolutionary Years”. 英語.

#### I. その他の活字にならない研究活動

- 国際ワークショップ International Relations Within: Self-Complexity in Ethnic Conflict and Coexistence を主催 (2019年3月9-10日, 駒場キャンパス).
- ロシア史研究会事務局長 (2019年10月まで).
- 『ユダヤ・イスラエル研究』 (日本ユダヤ学会) 編集長.

### 外村 大 (TONOMURA Masaru)

#### D. 一般学術論文

- 外村大, 戦後日本人の三・一運動への関心と理解, 日本学報, **121**, pp. 15-44, 韓国日本学会, 2019.

#### F. その他の業績

- 外村大, 論説, 植民地支配の本質とは何か——朝鮮人強制動員問題から考える——, 月刊社会民主, **766**, pp. 7-13, 社会民主党全国連合機関紙宣伝局, 2019.
- 外村大, コラム, 謙虚に史実に向き合うために, 週刊金曜日, **1221**, pp. 23-23, 株式会社週刊金曜日, 2019.
- 外村大, コラム, 再読『朝鮮人強制連行の記録』非人道的扱い 貴重な証言, 『しんぶん赤旗』2019年3月17日号, 日本共産党中央委員会, 2019.
- 外村大, コラム, 3・1運動の「宣言書」の現代日本語訳の意義・東アジアの平和, 人権, 民主宣言, INDEPEND WEB JOURNAL, 株式会社インディペンデント・ウェブ・ジャーナル, 2019.
- 外村大, コラム, 「望恨歌」の公演によせて——市民同士の「和解」を考える——, 『多田富雄没後九年追悼能公演 新作能 望恨歌』, pp. 3-4, 多田富雄の新作能を上演する会, 2019.
- 外村大, インタビュー, 植民地下の支配・被支配直視を, 平和新聞, **2214**, 日本平和委員会, 2019.
- 外村大, インタビュー, 〈「徴用工」問題〉人権侵害された人々をどう救うかが問題の本質, 週刊金曜日, **1251**, pp. 16-18, 株式会社週刊金曜日, 2019.
- 外村大・南基正, [対談]「崖っぷちの韓日関係」強制動員被害者問題どう解決するか?, ハンギョレ, 2019.11.26, ハンギョレ, 2019

#### G. 国際学会

- 2nd RCCZ International Conference. Chung-Ang University and Hankuk University of Foreign Studies

Humanities Project Reconciliation and Coexistence in Contact Zone. 中央大学 (韓国ソウル市). 2019.11.8. 招待講演. 일본의 ‘역사 문제’ 와 ‘시민사회 화해’ 의 가능성 (日本の「歴史問題」と「市民社会の和解」の可能性). 朝鮮語.

- 韓国日本研究団体第8回国際学術大会「東アジアの平和と3・1運動」. 韓国日本学会. 淑明女子大学 (韓国ソウル市). 2019.8.23. 招待講演. 일본에 있어서의 3・1 운동의 기억과 인식 (日本における三・一運動の記憶と認識). 朝鮮語.

#### H. 国内学会

- 日本国際問題研究所東アジア検討会第9回会合. 日本国際問題研究所. 日本国際問題研究所 (東京都千代田区). 2019.3.25. 招待講演. 朝鮮植民地支配の被害の認識と認定——戦時労働動員を中心に——.
- 第12回強制動員真相究明全国研究集会. 強制動員真相究明ネットワーク. 高崎市労使会館 (群馬県高崎市). 2019.4.6. 招待講演. 明治産業革命遺産と朝鮮人強制連行.
- 日本移民学会第29回年次大会ランチタイムトーク「出入国管理及び難民認定法」改正と移民研究. 日本移民学会. 天理大学 (奈良県天理市). 2019.6.30. 「外国人労働者受入れ拡大」を考える——歴史研究からの論点.
- 山梨戦争展成功に向けての講演・学習の集い. 「平和を願う山梨戦争展」実行委員会. 山梨県男女共同参画推進センター (山梨県甲府市). 2019.7.6. 招待講演. 朝鮮人戦時動員の歴史と「和解」を考える.
- 中国人強制連行・西松安野和解10周年 あらためて歴史問題の和解を考える. 広島安野・中国人被害者を追悼し歴史事実を継承する会. 広島弁護士会館 (広島県広島市). 2019.10.19. 招待講演. 戦後日本の変容と「歴史問題の和解」の課題.
- 朝鮮半島の今を知る (35). 日本記者クラブ. 日本記者クラブ (東京都千代田区). 2019.10.25. 招待講演. 朝鮮人強制連行の実態. 第19回 KOREA 文化祭「シンパラム」. 早稲田大学「シンパラム」実行委員会. 早稲田大学 (東京都新宿区). 2019.12.4. 招待講演. 在日朝鮮人. 朝鮮民衆の歴史に学び. 考える事.

#### 中尾まさみ (NAKAO Msami)

##### F. その他の業績

- 中尾まさみ. 入試はゴールではない——英語教育における高大接続をめぐる——. 『東京大学教養学部報』. 608. 2019年4月1日.

##### H. 国内学会

- 中尾まさみ. 日本イェイツ協会第55回大会. 日本イェイツ協会. 愛知学院大学. 2019年11月16日. 特別講演. 窓辺の詩人たち——イェイツとヒーニーの詩的自画像を読む——.

## 中村元哉 (NAKAMURA Motoya)

### B. 分担執筆

- 中村元哉, 年表, 久保亨・井上久士・高田幸男・土田哲夫・中村元哉 (編), 『現代中国の歴史』〔第2版〕, p. 304, pp. 251-272, 東京大学出版会, 2019.
- 中村元哉, 中華民国史研究の動向——中国と日本の中国近代史理解, 川島真・中村元哉 (編), 『日本の中華民国史研究』, p. 440, pp. 27-63, 晃洋書房, 2019.
- 中村元哉, 削弱党治の民意——国民参政会与立法院, 深町英夫 (編), 『中国議会百年史——誰代表誰? 如何代表?』, p. 336, pp. 103-117, 台湾大学出版中心, 2019.

### I. その他の活字にならない研究活動

- 冷戦研究会第51回例会, 冷戦研究会, 東京大学 (東京), 2019.6.15, 依頼報告, 中国・香港・台湾におけるリベラリズムの系譜, 日本語.
- Asian Studies Conference Japan 2019, ASCJ, 埼玉大学 (埼玉), 2019.6.29, 討論, The Transmission of Information and the Space of Speech in Modern China: The Historical Meaning of the Official Bulletins and the Journals published in the late Qing and the Republican China, 英語.
- 民族主義・自由主義と社会主義の交錯抉擇——近代中韓歴史経験的比較, 中央研究院近代史研究所 (台北), 2019.7.22, 招待講演, 由民国史解析東亜冷戦時期的中国憲政与漢斯・凱爾森, 中国語.
- 東アジアの民主主義を台湾から考える, 科研基盤 (C) 代表・工藤貴正教授, 愛知県立大学 (長久手), 2019.11.10, 招待講演, 近現代中国・香港・台湾の自由主義と雷震の政治思想, 日本語.
- 「尊厳概念のグローバルスタンダードの構築に向けた理論的・概念史的・比較文化論的研究」研究会, 科研基盤 (S) 代表・加藤泰史教授, 一橋大学 (国立), 2019.7.20, 依頼報告, 中国憲法史における尊厳概念——その背後にある政治思想, 日本語.
- 第20回兩岸四地歴史学研究生論文発表会, 河南大学 (開封), 2019.9.19, 依頼挨拶, 日本側挨拶, 中国語.
- 「国際漢学」集中講義, 政治大学 (台北), 2019.10.24-25, 依頼講演, 日本中華民国史研究的動向／近現代東亜の歴史認識問題与中国憲政史研究, 中国語.
- 日中歴史研究者との意見交換会, 日本国際問題研究所 (東京), 2019.11.27, 依頼報告, 近現代中国の尊厳概念をめぐる, 日本語.

## 西川杉子 (NISHIKAWA Sugiko)

### F. その他の業績

- 西川杉子, エッセイ, 歴史家とアーキビストの対話: 提言——近世の宗派ネットワークと文書館調査, 『歴史学研究』, 2019年9月号, No. 987, pp. 33-38, 歴史学研究会, 2019.

## 西崎文子 (NISHIZAKI Fumiko)

### D. 一般学術論文

- 西崎文子, 「序論「ウィルソン主義」の一〇〇年」『国際政治』, 第198号, 2020年1月, pp. 1-14.

### E. その他の業績

- 西崎文子, エッセー, 「同時代史としてのアメリカ研究——駒場との往還」, 東京大学教養学部編『東京大学駒場スタイル』, 東京大学出版会, 2019年6月, pp. 136-141.
- 西崎文子, 書評, 『朝日新聞』.
  - ・ナンシー・アイゼンバーク『ホワイト・トラッシュ アメリカ低層白人の四百年史』, R. ホックシールド『壁の向こうの住人たち アメリカの右派を覆う怒りと嘆き』2019年1月12日,
  - ・ヒシャーム・マタール『帰還 父と息子を分かち国』2019年2月9日,
  - ・ジェラルディン・ブルックス『ケイレブ』2019年2月23日,
  - ・アライダ・アスマン『想起の文化 忘却から対話へ』2019年3月23日,
  - ・上杉忍『ハリエット・タブマン「モーゼ」と呼ばれた黒人女性』, キャサリン・クリントン『自由への道 逃亡奴隷ハリエット・タブマンの生涯』2019年4月20日,
  - ・エヴァ・ホフマン『シュテットル ポーランド・ユダヤ人の世界』2019年5月4日,
  - ・三山喬『漂流する魂 世界のウチナンチュ 120年の物語』2019年6月1日,
  - ・リジー・コリンガム『大英帝国は大食らい イギリスとその帝国による植民地経営は、いかにして世界各地の食事をつくりあげたか』2019年6月8日,
  - ・レオナルド・パドゥーラ『犬を愛した男』2019年6月22日,
  - ・ロバート・キャンベル『井上陽水英訳詞集』2019年6月29日,
  - ・ミチコ・カクタニ『真実の終わり』2019年7月27日,
  - ・スーザン・サザード『ナガサキ 核戦争後の人生』, ダヴィデ・マリア・トゥロルド『地球は破壊されはしない』2019年8月10日,
  - ・トニ・モリスン『「他者」の起源 ノーベル賞作家のハーバード連続講演録』2019年8月24日,
  - ・ヤン＝ヴェルナー・ミュラー『試される民主主義 20世紀ヨーロッパの政治思想(上・下)』2019年9月7日,
  - ・ジェニファー・イーガン『マンハッタン・ビーチ』2019年9月14日,
  - ・ミシェル・オバマ『マイ・ストーリー』2019年10月5日,
  - ・マーク・ベコフ『愛犬家の動物行動学者が教えてくれた秘密の話』2019年10月26日,
  - ・アリエル・バーガー『エリ・ヴィーゼルの教室から 世界と本と自分の読み方を学ぶ』2019年11月9日,
  - ・マヌエル・アサーニャ『ベニカルロの夜会 スペインの戦争についての対話』2019年11月30日,
  - ・リン・ハント『なぜ歴史を学ぶのか』2019年12月7日,

## G. 国際学会

10<sup>th</sup> Anniversary of the Graduate School of Global Studies. “What is Global Studies? Pursuing Conviviality and Constructing new Civilizations.” 同志社大学, 2019年11月30日, 招待講演, “The End of ‘American Exceptionalism’ and the Future of Global Order.” 英語.

## H. 国内学会

- 「危機を超えて 地域研究からの価値の創造」, 日本学術会議第一部地域研究委員会地域研究基盤強化分科会主催シンポジウム, 日本学術会議講堂, 2019年10月4日, 総合司会・企画.
- 特別ワークショップ「イラン革命から40年 何が変わり, 何が実現したか」, 科研費基盤A「宗教の政治化と政治の宗教化」同新学術領域研究「グローバル関係学」, 千葉大学グローバル関係融合研究センター共催, 東京グリーンパレス, 2019年2月10日, 討論者.

## I. その他の活字にならない研究活動

- 西崎文子, 講演, 「混迷するアメリカ——歴史的視点から」, willbe アカデミー 2019, 東京大学本郷キャンパス ダイワハウス石橋信夫記念ホール, 2019年8月31日.
- 西崎文子, パネリスト, 第二部「駒場スタイルの未来」「東京大学教養学部創立70周年記念シンポジウム 学際知の俯瞰力」東京大学駒場Iキャンパス講堂(900番教室), 2019年7月7日.

## 橋川健竜 (HASHIKAWA Kenryu)

### D. 一般学術論文

- 橋川健竜, 元後期ロイヤリストがアメリカで描くアッパーカナダ植民地と1812年戦争(1), 『アメリカ太平洋研究』, 19, pp. 49–64, 東京大学附属アメリカ太平洋地域研究センター, 2019.

### F. その他の業績

- 橋川健竜, 「例会報告要旨」, 元・後期ロイヤリストがアメリカで振り返る1812年戦争とアッパーカナダ植民地, 『初期アメリカ学会ニューズレター』, 83, pp. 1–4, 初期アメリカ学会, 2019年5月28日.

### H. 国内学会

- 初期アメリカ学会第79回例会, 学習院女子大学, 2019.4.12, 一般発表, 元・後期ロイヤリストがアメリカで振り返る1812年戦争とアッパーカナダ植民地.

## 長谷川まゆ帆 (HASEGAWA Mayuho)

### B. 分担執筆

- 長谷川まゆ帆, それぞれに咲く花, 谷川稔・川島昭夫・南直人・金澤周作(編著), 『越境する歴史観たちへ——「近代社会史研究会」からのオマージュ(1985–2018)』, ミネルヴァ書房, p. 363, pp. 132–152, 2019.

### D. 一般学術論文

- 長谷川まゆ帆, 時間の中にある歴史叙述——〈根をもつこと〉と〈闇の可視化〉について(2018.7.27

東洋大での招待講演の記録). 『東洋大学人間科学総合研究所紀要』別冊〈特集: 社会史を再考する〉, 22 別冊, pp. 77-114, 2019.

#### F. その他の業績

- 長谷川まゆ帆, エッセイ, 「シャイな哲学者に送る」, 『教養学部報』, 614, 2019.
- 長谷川まゆ帆, インタビュー, 「授業紹介: 歴史 I」, 『東大新聞』, 3891, 2019.
- 長谷川まゆ帆, UTokyo BiblioPlaza: 東京大学教員の著作を著者自らが語る広場, 『近世フランスの法と身体——教区の女たちが産婆を選ぶ』, (東大出版会, 2018), 日本語及び英語, 2019.

#### H. 国内学会

- 東京大学朝日講座 2019 年度講義「つながりから読み解く人と世界」第 2 回, 本郷文学部大会議室, 招待, 2019.10.2, 「近世フランスの女と社会——オーラルとエクリの交錯」.
- Journée d'étude organisée Par Sakurako INOUÉ et Youichi SUMI. La «Famille» sous l'Ancien Régime. Université keio. le 21 septembre 2019. 招待, «Étude de la famille sous l'Ancien Régime : le cas de Mme de Graffigny (1695-1758)». 言語: フランス語.
- 皆川卓代表科研, 基盤 (B) 「中世ヨーロッパにおける〈正しい認識力〉観念の変遷」, 合宿研究会にて報告, 茅野, 2019.8.8, 一般, 「多数決で選ぶ: 18 世紀後半シャンパーニュの小教区マコンの事例より」.
- 専攻主催シンポジウム, 「〈身体からみる地域: 医療・衛生・宗教実践」東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻, 駒場東大, 2019.6.29, 一般, 「18 世紀前半パリのジャンセニズムと痙攣する身体: 内科医エッケの檄文にみる医学と病氣直し」.

### 原 和之 (HARA Kazuyuki)

#### B. 分担執筆

- Kazuyuki HARA. Deconstructing the Oedipus Complex: Kenzaburo Ôe and Haruki Murakami on the Way to a Theory of Global Culture. Jean-Michel Rabaté (ed.). *Knots: Post-Lacanian Psychoanalysis, Literature and Film*. pp. 147-163. Routledge, 2019.
- 原和之, 知る, 中島隆博・石井剛編著, 『ことばを紡ぐための哲学』, pp. 86-107, 白水社, 2019.

#### D. 一般学術論文

- 原和之, 言語 (ロゴス) と場所 (トポス)——シニフィアン連鎖・バベルの図書館・オイラー図——, 東京大学総合文化研究科地域文化研究専攻紀要『Odysseus』, 第 23 号, pp. 105-143, 東京大学総合文化研究科地域文化研究専攻, 2019.

#### E. 翻訳

- 原和之 (訳), アラン・バディウ (著), 『ラカン: 反哲学 3 セミネール 1994-1995』, 356p, 法政大学出版局, 2019.

#### F. その他の業績

- 原和之, 訳者あとがき, アラン・バディウ (著), 『ラカン: 反哲学 3 セミネール 1994-1995』,

pp. 331–339. 法政大学出版局, 2019.

G. 国際学会

- Workshop “Deviating with Freud: Discussions with George Makari”, Seikei University, 2019.3.21. 招待発表. Why Is Psychoanalysis Called So?: Psychoanalysis in the Conceptual History of Analysis. 英語.

H. 国内学会

- 日本ラカン協会第 19 回大会シンポジウム: フロイディズムと哲学, 専修大学, 2019.12.08. 招待発表. 「哲学」の複視 (ディプロピア): バダイウによる「ラカン」, 日本語, コーディネート.

**深澤晴奈 (FUKASAWA Haruna)**

B. 分担執筆

- 深澤晴奈. ラテンアメリカからスペインへ——家事労働分野における女性移民労働者——. 松久玲子 (編). 『国境を越えるラテンアメリカの女性たち——ジェンダーの視点から見た国際労働移動の諸相』, p. 253. pp. 121–144. 晃洋書房, 2019.
- 深澤晴奈. スペインへの移民流入と社会政策. 小谷眞男・横田正顕 (編) 『新・世界の社会福祉 第 4 巻 南欧』, p. 534. pp. 322–342. 旬報社, 2019.

G. 国際学会

- IX Congreso de migraciones 2019 (第 9 回移民会議 2019). スペイン移民学会, バルセロナ自治大学, 2019.9.5. 一般発表. España y Japón, un “problema” y dos realidades. スペイン語.

H. 国内学会

- 21 世紀ラテンアメリカ研究会, たかつガーデン, 2019.12.14. 一般発表. スペインにおけるラテンアメリカ出身移民.
- 日本ラテンアメリカ学会第 40 回定期大会, 日本ラテンアメリカ学会, 創価大学, 2019.6.2. 一般発表. ラテンアメリカからスペインへ: 家事労働分野における女性移民労働者 (パネル D: ラテンアメリカにおける国際移民とジェンダー: 越境するラテンアメリカの女性たち).

**増田一夫 (MASUDA Kazuo)**

E. 編訳

- 増田一夫. 「イデオロギー」 (pp. 22–29), 「ジェンダー」 (pp. 143–156), 「宗教的近代」 (pp. 251–264), 「植民地化」 (pp. 308–323). 他 20 項目の監訳. レジーヌ・アズリア, ダニエル・エルヴェー＝レジェ編, 増田一夫, 伊達聖伸, 鶴岡賀雄, 杉村靖彦, 長井伸仁編訳. 『宗教事象事典』, p. 774, p. xix. みすず書房, 2019.5.

F. その他の業績

- 増田一夫. エッセイ. 駒場をあとに: リベラル・アーツの日々. 教養学部報, 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部, 614 号, 2019.12.2.

**黛 秋津 (MAYUZUMI Akitsu)**

B. 分担執筆

- MAYUZUMI A.. The Appearance of Vassal States and “Suzerainty” in the Ottoman Empire: The Case of Wallachia and Moldavia. OKAMOTO Takashi (ed.). *A World History of Suzerainty: A Modern History of East and West Asia and Translated Concepts*. p. 323. pp. 21–40. Toyo Bunko. 2019.

D. 一般学術論文

- 黛秋津. 黒海地域の歴史：新しい地域研究の試み. 『歴史と地理 (世界史の研究)』 **726**. pp. 1–18. 山川出版社 2019.

G. 国際学会

- Le XIIe Congrès d'études du Sud-Est européen. AIESEE (Association Internationale d'Etudes du Sud-Est Européen). Bucharest. 2019.9.2–7. 一般発表. *Voyvoda and khan as diplomatic issues on the Russo-Ottoman relations: from the perspective of the history of the Black Sea region in the 18th century*. 英語.

H. 国内学会

- 第6回「近現代の構造変動」セミナー. 東洋文庫. 2019.3.18. 招待講演. ヨーロッパ列強のバルカン進出の中の領事館——18世紀後半ドナウ両公国におけるロシア領事館開設問題を中心に.

**村松真理子 (MURAMATSU Mariko)**

B. 分担執筆

- 村松真理子. 「うたう」. 中島隆博, 石井剛ほか (共著). 『ことばをつむぐための哲学』. 白水社. 2019. pp. 162–187.

D. 一般学術論文

- 村松真理子. 「1943年9月から1945年4月25日をひとりの少年がどう生きたか——北イタリア「解放」のある記憶と「歴史」への参加」. *Odysseus: 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻紀要*. 2019.

H. 国内学会

- イタリア学会第67回大会. イタリア学会主催. 鹿児島. 鹿児島大学. 2019.10.26. 公開特別シンポジウム「火山の記憶——鹿児島とナポリ」企画責任者および司会.

**森井裕一 (MORII Yuichi)**

D. 一般学術論文

- 森井裕一. EU 新人事をドイツからみる. 『外交』. Vol. **57**. pp. 104–109. 2019.
- 森井裕一. 理念と現実の狭間で揺れる独中関係. 『東亜』. No. **625**. pp. 92–100. 2019.

F. その他の業績

- 森井裕一. 解説. 複雑な歴史を象徴するベルリン. 『図書館教育ニュース』. 少年新聞社. 11月8日号. 2019.

- 森井裕一. 解説. 欧州議会選——EU 会議派が伸張も、舵取りは親 EU 勢力. 『エコノミスト』. 毎日新聞出版. 6 月 11 日号. p. 14. 2019.
- 森井裕一. 解説. 独与党党首選——首相側近が僅差で勝利, 3 州議会選が試金石. 『エコノミスト』. 毎日新聞出版. 12 月 25 日号. p. 18. 2018.

### 森山 工 (MORIYAMA Takumi)

#### F. その他の業績

- 森山工. 書評. 「本の棚 関谷雄一・高倉浩樹編『震災復興の公共人類学——福島原発事故被災者と津波被災者との協働』」. 『教養学部報』 611. 東京大学教養学部. 2019 年 7 月 1 日. p. 2.
- 森山工. 「解説——レヴィ＝ストロースにおける倫理的態度とその開かれ」. 渡辺公三『〔増補〕闘うレヴィ＝ストロース』. 2019 年 8 月. 平凡社 (平凡社ライブラリー). pp. 315–332.

### 矢口祐人 (YAGUCHI Yujin)

#### B. 分担執筆

- “Tolerance, Reconciliation, and Alliance of Hope: Pearl Harbor Narratives in Japan,” in Beth Bailey and David Farber, eds., *Beyond Pearl Harbor: A Pacific History* (Lawrence: University Press of Kansas, 2019) 194–206.
- 「博物館展示と戦争」『太平洋諸島の歴史を知るための 60 章』明石書店 (2019 年 1 月) 227–231.

#### F. その他の業績

- 「「日本のフラ」を理解するために / Understanding Hula in Japan」『AM/NESIA: オセアニアの忘れられた「群島」』山形国際ドキュメンタリー映画祭 (2019 年 10 月) 56–59.
- 「フラのジェンダーを考える」『素敵なフラスタイル』 68 (イカロス出版 2019 年 12 月) 24–25
- 「フラから見るハワイの歴史と文化」北星学園大学 (講演) 2019 年 9 月 28 日

#### G. 国際学会

- “Transpacific Diasporas in the Global Age: Histories, Contestations, Negotiations, and Solidarities,” Chair and Comment, American Studies Association (Honolulu), November 7, 2019.
- “American Quarterly: Remapping AQ in Time and Space,” American Studies Association (Honolulu), November 8, 2019.

#### H. 国内学会

- 日米協会「アメリカ研究者の集い 2019」(国際文化会館) (司会・コメント) 2018 年 10 月 4 日.

### 安岡治子 (YASUOKA Haruko)

#### F. その他の業績

- 安岡治子. 項目執筆. 「農村と文学」. 沼野充義ほか編『ロシア文化事典』. pp. 376–377. 丸善出版. 2019.

#### H. 国内学会

- 『『反米』が腐食する時代——反米・嫌米・離米——統一と分裂』、日本比較文学会関東支部 5 月例会、二松学舎大学、5 月 18 日、招待講演、ロシアにおける反米。

#### H. その他の活字にならない研究活動

- ウラジーミル・ロスキー著『東方キリスト教の神秘思想』研究会主催、東京大学駒場キャンパス 18 号館コラボレーションルーム、オープンスペース、6 月 6 日、6 月 13 日、6 月 27 日、7 月 4 日。

#### 山口輝臣 (YAMAGUCHI Teruomi)

##### B. 分担執筆

- 山口輝臣 (共同編集)、寺内正毅関係文書研究会、『寺内正毅関係文書 1』、p. 568、東京大学出版会、2019。
- 山口輝臣、東大仏教学への新たな視座、鈴木淳ほか、『企画研究「学術資産としての東京大学」講演録 1』、p. 85、pp. 29-35、pp. 39-40、pp. 45-46、東京大学連携研究機構ヒューマニティーズセンター、2019。
- 山口輝臣、「国家神道」と「国体」のあいだにて、藤田大誠 (編)、『国家神道と国体論——宗教とナショナリズムの学際的研究』、p. 536、弘文堂、2019。

##### F. その他の業績

- 田村隆・山口輝臣、エッセイ、法医工文理農工養育薬、教養学部報、606、4 面、東京大学教養学部、2019。
- 山口輝臣、解説、「総説」(「2018 年の歴史学会——回顧と展望」日本近現代)、『史学雑誌』、128.5、pp. 150-152、公益財団法人史学会、2019。
- 山口輝臣、書評、「本の棚 大西由紀「日本語オペラの誕生——鷗外・逍遙から浅草オペラまで」、教養学部報、613、4 面、東京大学教養学部、2019。
- 山口輝臣、取材、「耕論 平成流の象徴天皇 宗教との関係 大きな画期 山口輝臣さん 東京大学 准教授」、朝日新聞、2019 年 3 月 7 日、朝刊 15 面 (12 版)。
- 山口輝臣、取材、「日本人と元号 上 出来事・文化表す「歴史の記憶」 「延喜・天曆の治」 「明治維新」」、読売新聞、2019 年 3 月 19 日、朝刊 13 面 (12 版)。
- 山口輝臣、取材、「引き継ぐ「神器」たどってきた道は「運命共にする」昭和天皇の覚悟」、朝日新聞、2019 年 3 月 22 日、朝刊 29 面 (13 版)。
- 山口輝臣、取材、「論説委員が聞く 歴史から見る天皇制 時代で姿を変えつつ 東京大学大学院准教授山口輝臣さん」、東京新聞、2019 年 4 月 27 日、朝刊 4 面。
- 山口輝臣、取材、『『青山学院一五〇年史』資料編 I の評価と今後の期待 (抄録)』、青山学報、269、pp. 25-26、青山学院、2019。

#### G. 国際学会

- 近現代の東アジア社会における「学歴／学校歴」の位相。九州大学韓国研究センター・九州大学大学文書館。2019年3月2日。日本語。ファシリテーター。

#### H. 国内学会

- 明治史研究を考える。青山学院大学史学科・青山史学会共催。青山学院大学。2019年7月11日。招待講演。明治史における宗教史研究の最前線。
- 第6回寺内正毅関係文書研究会。寺内正毅関係文書研究会。東京大学駒場キャンパス。2019年12月22日。一般発表。書翰を選別した痕跡から寺内正毅資料を考える。

#### ロビンス, ロジャー (ROBINS Roger)

#### 和田 毅 (WADA Takeshi)

#### G. 国際学会

- International Visiting Scholars Lunch Talks. Jack W. Peltason Center for the Study of Democracy, University of California Irvine. 2019.12.6. 招待講演。Violence, Protest, or Convention? A Comparison of the Strategic Patterns in Contentious Politics around the World. 英語。
- LASA2019 “Nuestra América: Justice and Inclusion.”. The Latin American Studies Association. Boston, MA. 2019.5.27. 一般発表。Workshop on Protest Event Analysis in Latin America: An Introduction, Inquiry, and Invitation. 英語。座長。

#### H. 国内学会

- The Third Research Meeting of the JSPS-Research Project “The Nexus of International Politics in Climate Change and Water Resource.” Institute for Future Initiative. The University of Tokyo. 2019.11.24. 一般発表。Climate change resilience and local water conflicts: Lessons from Latin America. 英語。
- Research Meeting of the SDGs Collaborative Research Unit. Institute for Future Initiative. The University of Tokyo. 2019.10.26. 一般発表。Four questions about our analytical framework: Lessons from Latin America. 英語。

#### I. その他の活字にならない研究活動

- 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (A) 『気候変動と水資源をめぐる国際政治のネクサス——安全保障とSDGsの視点から』(研究代表者: 藤原帰一)の計画に基づいた研究(研究分担者)。
- 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (B) 『ポスト新自由主義時代の社会運動が提唱する「もう一つの世界」に関する国際共同研究』の計画に基づいた研究(研究代表者)。
- 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (B) 特設分野(紛争研究)『暴力的紛争の勃発を予知するシステムを開発する国際的・学際的共同研究』の計画に基づいた研究(研究代表者)。
- 東京大学スーパーグローバル大学創成支援に係る第2期戦略的パートナーシップ構築事業『チリとメキシコの大学との戦略的パートナーシップの構築』プロジェクト(2017–2020年度)。